

其先頭ヲ以テ箱根崎ニ達セシトキ八王子方向ヨリ北進中  
ノ敵ハ歩兵四五大隊ヲ基幹トスルモノニシテ午前十時三  
十分拜島北端ヲ通過シ北進セシコトヲ知り箱根崎附近ヲ  
占領スルニ決ス

但此附近ノ森林ハ密集部隊ノ通過ヲ許ス

四 増加隊ノ編組左ノ如シ

長 大佐某

歩兵第十五聯隊

騎兵一小隊

野砲兵第一大隊(第三中隊欠)

工兵一小隊

問題

箱根崎附近増加隊陣地占領要圖

研究項目

決戦防禦配備

説明

箱根崎附近ハ到底長ク敵ヲ拒止スルコトノ出來ル陣地デナイ寧ロ決戦的陣  
地デアツテ敵ノ兵力モ左程優勢デナイカラ決戦防禦ガ至當デアル  
配備ハ箱根崎東北側及西側ニ砲兵ヲ置キ箱根崎南端及西南側ニ各歩兵一中  
隊ヲ配備シ其他ノ主力ヲ長岡村東側ノ森林内ニ集結スル

第三十五想定

(扇町屋所澤八王子間)

一 南北兩軍ハ田無板橋ノ線ニ於テ相對峙シ決戦ノ期迫リ  
ツツ在リ

二

南軍増援ノ目的ヲ以テ甲州街道ヲ東進シタル増加隊ハ十月十七日午前九時其歩兵先頭ヲ以テ八王子中央ニ達シタルトキ田無方向ニ方リ盛ナル砲聲ヲ聞キ同時軍司令官ヨリ次ノ要旨ノ訓令ニ接ス

一 軍ハ敵ノ機先ヲ制シ今朝ヨリ攻勢ヲ取レリ

二 信スヘキ諜報ニ依レハ歩兵約一旅團ヲ基幹トスル敵ハ兒玉—高萩道ヲ南進中ニシテ午前八時ニハ高萩ニ達スル距離ニ在リ

三 増加隊ハ高萩方向ノ敵ニ對シ軍ノ左側ヲ掩護スヘシ  
増加隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第四十九聯隊及同第一聯隊第一大隊

騎兵一小隊  
野砲兵第一大隊(第三中隊欠)  
工兵第一中隊

第一問題

午前九時ニ於ケル増加隊長ノ決心

答 解

増加隊ハ今ヨリ小川ヲ經テ大岱方向ニ前進セントス

情 況

正午増加隊ハ其前衛(歩兵一大隊、野砲兵一中隊ヲ基幹トス)歩兵ノ先頭ヲ以テ小川村鐵道線路踏切ニ達セシトキ増加

隊長ハ次ノコトヲ知ル

- 一 扇町屋方向ヨリ前進セシ敵ハ二縦隊トナリ其左縦隊ハ今ヨリ二十分前北秋津村南端ヲ通過シ其右縦隊ハ約十分前其西方ニ於テ柳瀬川ヲ渡リ久米川方向ニ前進セリ
- 二 軍主力ノ左翼ハ田無附近ニ在リテ其西方地區ニ於テ彼我騎兵ノ主力相對峙シ在リ
- 三 田無方面ノ銃砲聲ハ刻々激烈ノ度ヲ増加シツツ在リ
- 四 此附近森林ハ概ネ部隊ノ通過ヲ許ス

### 第二問題

正午ニ於ケル増加隊長ノ決心

### 答 解

増加隊ハ一部(前衛)ヲ以テ久米川方向ノ敵ヲ攻撃セシメ主力ヲ以テ柳窪村東南側地區ヨリ前澤村ニ向ヒ攻撃セントス

### 研究項目

- 一 主力決戦時期ニ於ケル増援隊ノ前進方向
- 二 優勢ノ敵ヲ抑留スル爲メノ攻撃

### 説 明

●増援隊●前進●方向● 軍主力方面ハ決戦ニ移リツ、在ルカラ高萩方面ノ敵ハ之ニ直接協力スル爲メ所澤方向ニ前進スルデアラウ随ツテ此敵ニ對シ軍ノ左側ヲ掩護スベキ任務ヲ受ケタル増加隊ハ其方面ニ前進スルノガ至當デ

アル是レ此情況ニ於テ敵ハ一部デモ箱根崎方面ニ兵力ヲ割クノ懸ヲセナ  
イカラデアル  
優勢ノ敵ヲ抑留スル爲メノ決心 所澤方面カラニ縱隊トナツテ南進シツ、  
アル敵ノ右縱隊ハ我増加隊ニ向ツテ前進シテ來ルデアラウガ左縱隊ノ方  
ハ我ニ向ツテ來ルカ本軍方面ニ赴クカ不明デアアルガ目下ノ時期ニ於テハ  
敵ハ恐ラク後者ノ策ニ出ルデアラウ之ニ對シ増加隊ハ全力ヲ以テ久米川  
方向ニ前進セバ敵ニ致サレル虞ガアル故ニ一部ヲ此方面ニ向ケテ攻勢ヲ  
取ラセ柳窪村東南側即チ大沼田新田方面ニ進出シテ豫想スル敵ノ本縱隊  
ノ側面ニ向ツテ攻撃スルノガ至當デアアル此際若シ敵ガ全力ヲ以テ大倍方  
向ニ前進シ來ラバ是レ増加隊ノ望ム所デアツテ増加隊ハ錯雜地ヲ利用シ  
更ニ之ニ對スル策ヲ講ズルノデアアル

第三十六想定

(扇町屋、所澤、八王子間)

一 南北兩軍ハ田無、板橋ノ線ニ於テ相對峙シ決戰ノ期迫リ

ツツ在リ

二 北軍増援ノ目的ヲ以テ高萩―所澤道ヲ南進セシ混成第  
二十八旅團ハ田無方向ニ方リ激烈ナル銃砲聲ヲ聞キツツ  
十月十七日午前十一時四十分其前衛步兵第十五聯隊(第三  
大隊欠)騎兵第一中隊(二分隊欠)野砲兵第一中隊、工兵第一中  
隊(一小隊欠)步兵ノ先頭ヲ以テ所澤西端ニ達セシトキ旅團  
長ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ次ノコトヲ知ル  
一 步兵約四千ヲ基幹トスル敵ハ八王子方向ヨリ小川方  
向ニ前進中ニシテ目下其先頭小川西南方玉川上水ノ線  
ニ達スル距離ニ在リ  
二 軍主力ノ右翼ハ田無西北方林縁附近ニ在リテ刻々危  
險ニ瀕シツツ在リ

三 混成第二十八旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第十五、第六十六聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

師團輜重ノ一部

問 題

午前十一時四十分ニ於ケル旅團長ノ決心ニ基ク處置

研究項目

- 一 一部ノ敵ニ對スル手段
- 二 決戰時期ニ於ケル本戰參與

說 明

目下玉川上水ノ線ニ達シツ、在ル敵ハ直ニ田無方向ニ前進スルカ或ハ大岱方向ニ前進シ來ルカ不明デアアルガ我旅團ノ情況ヲ知ラバ恐ラク我ヲ抑留スル策ニ出ルデアラウ此際本軍方面ハ危險ニ瀕シツ、在ルモ旅團全部ヲ以テ之ニ赴カントスレバ却テ一部ノ敵ニ抑留セラレル虞ガアル夫故旅團ハ一部ヲ以テ小川方向ノ敵ニ對サセ主力ハ本戰參與ノ企圖ヲ講ジルヲ要スル之ガ爲メ一部デモ守勢ヲ取ラスノハ不可デアアル此際旅團長トシテハ次ノ如ク處置スルノガ至當デアアル

前兵大隊ハ依然田無方向ニ前進セシメ前衛司令官ニ前兵大隊ヲ除キ新タニ步兵第十五聯隊第三大隊ヲ附シ所澤西端ヨリ久米川村方向ニ前進シテ小川方向ヨリ前進スル敵ヲ攻撃セシメ其他ヲ以テ軍ノ右翼ヲ赴援ス

本想定ト第三十五想定ト對照セバ結局大倍方面ニ於テ兩増援隊ノ一部宛前澤村大沼田新田間ニ於テ主力ノ斜方向ノ遭遇戦起リ其戦鬪ニ於テ有利ノ形勢ヲ占メ得タモノガ本戦ニ援助ヲ與ヘルノデアル若シ南軍増加隊ガ主力ヲ以テ久米川村方向ニ前進シタナラバ北軍増加隊ハ本戦ニ參與ガ出來ルコトハナル故ニ兩者ニナツテ研究セナケレバ眞ノ妙味ガ分ラナイノデアル

第三十七想定

(扇町屋、所澤、八王子間)

- 一 東京附近ニ集中セシ南軍ハ高崎方向ヨリ進入セシ北軍ト田無、板橋ノ線ニ於テ相對峙シ決戦ノ期迫リツツ在リ
- 二 敵ノ側背ヲ脅威スヘキ任務ヲ以テ厚木―八王子道ヲ北進セシ南軍支隊ハ十月十八日田無方向ニ方リ砲聲ヲ聞キツツ午前十時其先頭ヲ以テ八王子ニ達セシトキ支隊長ハ田無方向ノ砲聲刻一刻激烈トナリ漸次北方ニ移動スルヲ

知ル

三 支隊ノ編組左ノ如シ

- 長 少將某
- 歩兵第一、第二聯隊
- 騎兵第一中隊
- 野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊
- 工兵第一中隊
- 衛生隊半部

第一問題

午前十時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ敵ノ退路ヲ遮斷スル目的ヲ以テ箱根崎ヲ經テ藤澤  
方向ニ向ヒ前進セントス

情 況

午後一時前衛歩兵第一聯隊(第三大隊欠、騎兵第一中隊(一小隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊(一小隊欠))歩兵ノ先頭ヲ以テ箱根崎ニ達セシトキ支隊長ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ騎兵將校斥候ヨリ次ノ報告ヲ受領ス  
敵ハ所澤附近ヲ西北方ニ退却中ニシテ其一部所澤西方上新井西側地區ニ集中中ニシテ目下集合セルモノ歩兵四、五大隊ヲ下ラサルモノノ如シ

第二問題

午後一時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ上新井附近ニ集中中ノ敵ヲ攻撃セントス

第三問題

支隊ハ如何ニシテ此敵ヲ攻撃セントスルカ

研究項目

- 一 脅威部隊カ敵ノ退却ヲ知リタル場合ノ前進方向
- 二 敵ノ退却中ノ一部集合セルモノニ對スル決心
- 三 遭遇戰ノ指導

說 明

第一ノ決心 決戰時期ニハ本軍ニ近ク脅威スルノガ一般ノ要領デアルガ砲

聲ニ依ツテ既ニ敵ハ退却ニ就イタコトヲ知ツタノデアルカラ今カラ所澤南方地區ニ前進スルモ時機ヲ失フ虞ガアル故ニ此際箱根崎東方錯雜地ノ北方ニ出テ敵ノ退路ヲ遮斷スル策ニ出ルノガ最モ敵ニ苦痛ヲ與ヘルコトガ出來ル

第二ノ決心

敵ノ主力所澤附近ヲ退却中ニ在ルカラ支隊ハ尙其背後扇町屋方向ニ前進スルノガ有利ノ様デアアルガ是レ敵ニ大苦痛ヲ與ヘルノデアアルカラ上新井西側地區ニ集合中ノ敵ハ決シテ之ヲ許サナイ而シテ目下旅團ハ約二里ノ長徑ヲ以テ前進中ナルニ敵ハ既ニ四、五大隊ヲ集合シテ居ル故ニ駒形富士東北側地區ニ於テ之レト衝突スルノ覺悟ト先見ガ必要デアアル遭●遇●戰●ノ●指●導●法● 前述ノ如ク判斷セバ此儘前進スルノハ不利デアアル殊ニ敵ハ友軍退却ノ危急ヲ救フ爲メ猛烈ニ我ニ向ツテ攻撃シ來ルモノト覺悟スルヲ要スル隨ツテ先ヅ駒形富士附近ニ兵力ヲ集結シタル後上新井村方向ニ攻撃前進スルノガ至當デアアル敵ト衝突スルニ方ツテ右ニ重點ヲ持ツヤウ展開スルノハ比較的迅速デアアルガ此場合攻撃ノ餘波ヲ退却中ノ敵ニ及

ボス爲メ左ニ重點ヲ持ツノガ至當デアアル尙細部ハ各自ノ研究ニ讓ルトシヨウ

第三十八想定

(扇町屋所澤、八王子間)

一 田無、板橋ノ線ニ於テ不利ナル戰鬥ノ後川越方向ニ退却スル北軍司令官ハ敵ノ一部八王子―扇町屋道ヲ前進スル報ニ接シ所澤附近退却中ノ集成一旅團(集成歩兵六大隊ニ野砲兵一大隊、騎兵一中隊ヲ附ス)ヲ以テ軍ノ右側ヲ掩護セシム

二 該集成旅團ハ十月十八日午後一時上新井西側地區ニ集合ス此時旅團長ハ八王子方向ヨリ北進中ノ敵ハ混成約一旅團ニシテ目下其先頭箱根崎附近ニ達スル距離ニ在リ又軍ハ所澤以北ニ退却スルニハ尙約二時間ヲ要スルコトヲ



第一問題

午後一時ニ於ケル集成旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ箱根崎方向ノ敵ヲ攻撃セントス

情 況

旅團ハ兩翼ニ二大隊、中央後ニ二大隊及砲兵大隊ヲ以テ上  
新井—箱根崎道ヲ前進シ午後二時十分林村、堀ノ内村ノ線  
ニ達セシトキ敵ハ駒形富士附近ニ展開中ナルコトヲ知ル

第二問題

旅團攻撃配備

研究項目

- 一 退却中ノ側面掩護部隊ノ決心
- 二 遭遇戦ノ指導

説 明

掩護部隊ノ決心 軍ノ所澤以北ニ退却スルハ今カラ約二時間ヲ要スル見込  
ニテ其以北ニ於テモ容易ニ纏マリガ付カヌ情況デアアル此際集成旅團ハ一  
地ニ陣地ヲ占領シテ箱根崎方向ノ敵ヲ拒止セントセバ敵ニ自由ノ行動ヲ  
與ヘ益、我主力ノ爲メ不利トナル故ニ斷然攻撃シテ主力ノ危急ヲ救フコト  
ガ緊要デアアル彼奉天附近ノ會戰ニ於テ我第三軍ノ正面ニ對シ露軍ガ此方  
法ヲ取ツタノデアアル

遭遇戦ノ指導 斯ウシテ駒形富士東北方地區ニ於テ遭遇戦ガ起ル譯デアアル  
其指導要領ハ大體ニ於テ南軍ニ就イテ述ベタノト同様デアアル

第三十九想定

(所澤附近)

- 一 東京西部附近ニ集合中ノ敵ニ對シ所澤附近ヲ占領シテ後續部隊ノ來著(本夕所澤ニ來ル筈)ヲ待ツヘキ任務ヲ有スル北軍支隊ハ川越―所澤道ヲ南進シ十月十八日午前九時其前衛司令官少佐某、步兵第一聯隊第一大隊、機關銃一小隊、騎兵一小隊(一分隊欠)步兵ノ先頭ヲ以テ下富村北方約二千米不正十字路ニ達シタルトキ支隊長ハ將校斥候ヨリ次ノ報告ニ接ス
  - 兵力未詳ノ敵ノ一縱隊ハ今ヨリ約十分前北秋津村南方ニ於テ柳瀬川ヲ通過シ續イテ北進セリ
  - 此附近ノ森林ハ部隊ノ通過ヲ許ス
- 二 支隊ノ編組左ノ如シ

- 長 少將某
- 步兵第一聯隊及同第二聯隊第一大隊
- 騎兵一小隊
- 野砲兵第一大隊(第三中隊欠)
- 工兵第一中隊
- 衛生隊半部

第一問題

午前九時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ依然所澤ニ向ヒ前進セン  
トス

情 況

午前九時四十分支隊ノ先頭所澤新田東北端附近ニ達セシ  
トキ支隊長ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ前方ニ方リ稍盛ナ  
ル銃聲ヲ聞ク

第二問題

支隊長ハ何ヲ爲サントスルヤ

答 解

前衛ヲシテ神米金附近ヲ占領シ本隊ノ展開ヲ掩護セシメ  
本隊ハ下富村附近ニ展開セントス

情 況

午前十時前衛ハ神米金附近ヲ占領シ本隊ハ下富村附近ニ  
展開中敵ノ歩兵所澤新田南方林縁附近ニ現出セシコトヲ  
知ル

午前十時三十分支隊ノ展開略了リ直ニ攻撃前進ニ移ルヤ  
敵ハ若干應射セシ後退却ス

第三問題

支隊ハ爾後如何ニシテ前進セントスルヤ

情 況

敵ハ所澤北方森林内ニ於テ歩々抵抗セシカ之ヲ驅逐シツ  
ツ正午所澤北方森林南端ニ進出ス  
此時敵ノ大部ハ既ニ所澤部落内ニ影ヲ没シ一部ハ其北方

地區ヲ所澤ニ向ヒ退却中ニシテ支隊ハ林縁ヲ進出セントスルヤ所澤北側附近ヨリ敵ノ砲撃ヲ受ケ尙敵ノ歩兵所澤北端附近ヲ占領セルコトヲ知ル諸偵察ノ結果前面ノ敵ハ歩兵二、三大隊ヲ超ヘサルモノノ如シ  
同時騎兵斥候ヨリ次ノ報告ニ接ス  
歩兵三、四大隊ヲ基幹トスル敵ハ田無方向ヨリ前進中ニシテ今ヨリ一時間ノ後ニハ柳瀬川ノ線ニ達スル距離ニ在リ

#### 第四問題

正午ニ於ケル支隊長ノ決心

#### 答 解

支隊ハ直ニ前面ノ敵ヲ攻撃セントス

#### 情 況

此時師團幕僚師團長ノ意圖ヲ受ケテ來著シ支隊ハ所澤北方林縁附近ヲ占領シテ後續部隊ノ來著ヲ待ツヘキ旨ヲ具申ス

#### 第五問題

所澤北方附近支隊陣地占領要圖

但森林前面ノ桑樹ハ射界ヲ妨ケス

#### 研究項目

一 兵力不明ノ敵ニ對スル決心

- 二 展開ニ關スル決心
- 三 敵ト衝突ヲ豫期スル森林通過法
- 四 近ク後續部隊ヲ有スル敵ニ對スル決心
- 五 森林防禦

說 明

兵力不明ノ敵ニ對スル決心 支隊ハ任務上所澤ヲ占領スルヲ要シ敵ノ兵力ハ不明デアルカラ任務ニ基イテ攻撃ノ決心ヲ取ツタノデアアル  
 展開ニ關スル決心 既ニ所澤新田南方林縁附近デ敵ト衝突シサウナ情況トナツテ來タカラ支隊長ハ展開スルニ決シタノデアアル  
 敵ト衝突ヲ豫期スル森林通過法 敵ハ一部ヲ以テ森林中ニ於テ我ヲ遲滯セシメントスルカ或ハ森林内ニ於テ衝突ヲ企圖スルカ不明デアルカラ縦ヒ敵ノ一部ガ退却シタトハ云ヘ慎重ナル態度ヲ以テ部隊ヲ集結シ接戦ヲ豫期シテ前進スルノ注意ガ必要デアアル

近ク後續部隊ヲ有スル敵ニ對スル決心 前面ノ敵ハ我ヨリ弱勢ナルコトガ分リ其一部ハ敗北シテ退却中デアアル又新タニ後續部隊ガ北進シツ、アルガ戰場ニ到着スルハ一時間半後デアツテ展開終ル迄ニハ少クモ二時間以上ヲ要シ前面ノ敵ハマダ陣地ノ設備不十分デアルカラ直ニ攻撃スレバ成效ノ見込ガアルカラ直ニ攻撃スルノガ至當デアアル又夫レバカリデナク此林縁附近ニ於テ防勢ニ立テバ間モナク優勢ナ敵ノ攻撃ヲ受ケテ夕方迄保持ガ困難デアルカラ敵ノ目下ノ不利ナル狀況ニ乗ジャウトシタノデアアル  
 森林防禦 敵ハ我兩翼ノ何レニ向テ攻撃スルカ不明デアルカラ其何レニモ應ジルコトノ出來ルヤウニ配備シ砲兵ハ道路ノ出口ニ於テ凹角内ニ步兵ハ林縁ノ凹凸ヲ適當ニ利用シテ敵ノ攻撃シテ來ル方面ニ充分火力ノ發揚ガ出來ルヤウ占領スル

第四十想定

(所澤附近)

一 川越方向ノ敵ニ對シ所澤附近ヲ占領シテ中野方面ヨリ

前進スル師團ノ來著ヲ待ツヘキ任務ヲ有スル南軍支隊ハ  
敵ノ一部南下スル報ニ接シ取敢ヘス出發シ得ヘキ前衛司令官大佐某、步兵第三聯隊(第三大隊欠)、騎兵一小隊(一分隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵一小隊ヲ三、四時間行程先遣ス

二 該前衛ハ田無一ノ所澤道ヲ前進シ十月十八日午前九時其  
步兵先頭ヲ以テ北秋津村ニ達セシトキ前衛司令官ハ次ノ  
報告ニ接ス

步兵四、五大隊ヲ基幹トスル敵ハ目下下富村北方約二千  
米附近ニ達スル距離ニ在リ

三 支隊ノ編組左ノ如シ  
長 少將某  
步兵第三、第五十七聯隊

騎兵一小隊  
野砲兵第一大隊  
工兵第一中隊  
衛生隊半部

第一問題

午前九時ニ於ケル前衛司令官ノ決心

答 解

前衛ハ主力ヲ以テ所澤附近ヲ占領シ一部ヲ以テ其北方森  
林ヲ利用シ敵ノ前進ヲ遲滞セシメントス

情 況

前衛ハ午前十時三十分所澤附近ヲ占領ス  
前方ノ一部隊ハ漸次敵ノ壓迫ヲ受ケ陣地内ニ退却ス  
正午敵ハ所澤北方林縁ニ現出シ間モナク該地ニ工事ヲ爲  
スヲ見ル

支隊本隊ハ其先頭午後一時所澤ニ到着ス此時支隊長ハ次  
ノ報告ヲ受領ス

歩兵二、三大隊ヲ基幹トスル敵ノ一縦隊ハ坂戸―笠幡―  
入間川道ヲ南進中ニシテ今ヨリ一時間後ニハ入間川附  
近ニ達スル距離ニ在リ

### 第二問題

午後一時ニ於ケル支隊長ノ決心

### 答 解

支隊ハ直ニ前面ノ敵ヲ攻撃セントス

### 第三問題

所澤北方森林附近ノ陣地攻撃ノ爲メ地形判断

### 研究項目

- 一 森林ヲ利用シテ敵ノ前進遲滯法
- 二 敵カ近ク増加隊ヲ得ル場合ノ攻撃法
- 三 森林攻撃

### 説 明

敵ノ前進遲滯法 前衛ハ約倍數ノ敵ニ對シ本隊ノ來著迄約二、三時間所澤附

近ヲ保持セネバナラヌ之ガ爲メ敵ノ前進地帯タル所澤北方附近ノ森林ヲ  
 利用セバ一部隊ヲ以テ若干敵ノ前進ヲ遲滯サセ得ル見込ガアル  
 攻撃法 入間川村方向ノ敵ガ戰場到着迄三、四時間アルカラ此機ニ乗ジ餘リ  
 堅固デナイ敵陣地ニ攻撃ヲ決行シヨウト云フノデアアル  
 攻撃ノ爲メ地形判斷 比較的接近容易ナノハ上新井方面デアアルガ此方面カ  
 ラ攻撃中入間川村方向ノ敵ガ到着スルカモ知レナイカラ其反對側タル敵  
 ノ左翼ニ向ヒ攻撃スルノガ有利デアアル其他攻撃配備ノ細部及森林攻撃ニ  
 就イテハ各自ノ研究ニ待ツ

第四十一想定

(所澤附近)

一 東京西部附近ニ集合中ノ敵ニ對シ所澤附近ヲ占領シテ  
 後續部隊ノ來著本日夕所澤ニ到着スル筈ヲ待ツヘキ任務  
 ヲ有スル北軍支隊ハ川越方向ヨリ南進シ十月十九日午前

二 支隊ノ編組左ノ如シ

九時其先頭ヲ以テ所澤ニ達セシトキ騎兵將校斥候ヨリ次  
 ノ報告ニ接シ該地附近ヲ占領スルニ決ス  
 一 諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ東京方向ヨリ前進中ニシテ  
 今ヨリ一時間後ニハ田無ニ達スル距離ニ在リ  
 二 所澤南方ノ森林ハ伐採セラレ桑樹ハ射界ヲ妨ケス  
 長 少將某  
 步兵第一聯隊及同第二聯隊第一大隊  
 騎兵一小隊  
 野砲兵第一大隊(第三中隊欠)  
 工兵第一中隊  
 衛生隊半部



問 題

所澤附近支隊防禦配備要圖

研究項目

村落防禦

說 明

敵ノ主攻撃方面ハ我左翼方面デアル是レ右翼方面ハ久米村附近ノ錯雜地ノ爲メ其運動ヲ制限スルカラデアアル防禦配備ハ村落防禦ノ原則ヲ應用スル

第四十二想定

(所澤附近)

一 川越方向ノ敵ニ對シ所澤附近ヲ占領シテ中野方面ヨリ前進スル師團ノ來著ヲ待ツヘキ任務ヲ有スル南軍支隊ハ

二

中野―所澤道ヲ前進シ十月十九日正午其步兵先頭ヲ以テ北秋津村東南方約千五百米林縁ニ達セシトキ敵ハ二、三時間前所澤ニ達シ該地附近ヲ占領中ナルコトヲ知ル

支隊ノ編組左ノ如シ  
長 少將某

步兵第三、第五十七聯隊

騎兵一小隊

野砲兵第一大隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

注意 所澤南方ノ地形ハ前想定ニ同シ

研究項目

- 一 開進地
- 二 攻撃準備ノ位置
- 三 攻撃方向
- 四 村落内ノ追撃法

説 明

開進地 ハ中里村西北側附近前衛陣地ハ前衛先頭ノ達シタル林縁  
 攻撃準備ノ位置 柳瀬川ノ縁  
 主攻撃方向 敵ノ左翼  
 村落内ノ追撃 漸次情況ヲ與ヘ敵ヲ驅逐シテ所澤南端ヲ占領シタ後ノ追撃  
 法ハ歩兵操典第二部第百六ノ「住民地ニ進入セシ部隊ハ敵ニ追尾シ其前  
 ニ到ルマデ突撃ヲ續行スベシ此際敵ノ尙保持スル家屋アルトキハ一部隊  
 ヲ殘シ之ニ向ハシムルヲ要ス」トアル原則ヲ應用スルノデアアル

- 一 小野路―所澤―川越道ヲ北進シタル南軍第一師團ハ前  
 橋方向ヨリ前進シタル北軍ニ對シ川越附近ヲ占領シテ數  
 日來相對峙シ増加隊ノ來著ヲ待テ攻勢ニ轉スル企圖ヲ有  
 ス

第四十三想定

(扇町屋、飯能附近)

- 二 南軍増加隊ハ小川―所澤道ヲ北進シ十月二十日午前十  
 時其先頭ヲ以テ所澤西北端ニ達シタルトキ増加隊長ハ次  
 ノ諸情報ニ接スルト同時ニ川越方向ニ方リ稍盛ナル砲聲  
 ヲ聞ク
- 一 少クモ歩兵一旅團ヲ下ラサル敵ハ大宮郷―飯能道ヲ  
 前進中ニシテ目下其先頭飯能ニ達スル距離ニ在リ

二 川越方面ノ敵ハ今朝來攻勢ヲ取ラントスルノ模様アリ

三 増加隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第五聯隊及同第六聯隊第一大隊

騎兵一小隊

野砲兵第一大隊(第三中隊欠)

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

午前十時ニ於ケル増加隊長ノ決心

答 解

増加隊ハ飯能方向ニ轉進シ該方面ノ敵ニ對シ師團ノ側背ヲ安全ナラシメントス

情 況

午前十一時三十分増加隊ノ先頭下藤澤村西北端ニ達シタルトキ増加隊長ハ更ニ次ノ報告ヲ受領ス  
飯能方向ヨリ前進中ノ敵ハ目下其先頭入間川ノ線ニ達スル距離ニ在リ

第二問題

午前十一時三十分ニ於ケル増加隊長ノ決心

答 解

増加隊ハ前面ノ敵ヲ攻撃セントス

第三問題

増加隊攻撃ノ爲メ扇町屋附近地形判断

答 解

増加隊ハ一部ヲ以テ扇町屋方面ヨリ、主力ヲ以テ其以東ノ  
地區ヨリ攻撃スルヲ要ス

情 況

午後零時三十分前衛歩兵一大隊ハ扇町屋附近ヲ占領シ主  
力ハ其東方地區ニ向ヒ分進中ナリ

此時前面ノ敵ハ笹井村附近ヲ占領シテ前進ノ模様ナキヲ  
知ル

川越方面ニ於テハ砲聲漸次激烈ニ赴キツツ在リ

第四問題

午後零時三十分ニ於ケル増加隊長ノ決心

答 解

増加隊ハ直ニ前面ノ敵ヲ攻撃セントス

情 況

午後一時三十分略展開了リ直ニ攻撃前進ニ移ル敵ハ笹井  
村ヨリ根岸村ニ亘リテ占領シ其砲兵約四門ハ笹井村東側

附近ニ在リ増加隊ノ砲兵ハ黒須村東方約千米附近ニ陣地ヲ占領シ尙扇町屋北方高地上ニ進入路ヲ準備シツツ在リ  
午後二時歩兵ノ第一線ハ黒須東北方入間川支流ノ線ニ達ス此時笹井村ト根岸村トノ中間地區ニ新タニ敵ノ砲兵約八門現出シ歩兵モ漸次増加スル模様アリ

第五問題

午後二時ニ於ケル増加隊長ノ決心

答 解

増加隊ハ依然攻撃ヲ續行セントス

情 況

午後二時三十分増加隊ノ主力方面ハ下廣瀬村南端ヨリ黒須村西北側ニ亘ル線ニ達ス  
敵ノ銃砲火漸次激烈トナル  
午後三時ニ至ルモ第一線ハ敵火ノ爲メ前進頗ル澁滯ス此時師團長ヨリ次ノ要旨ノ訓令ヲ受領ス  
一 師團ハ一時決戦ヲ避ケ午後二時ヨリ運動ヲ始メ府中附近ニ退却シテ更ニ再擧ヲ計ラントス  
二 増加隊ハ其方面ノ敵ニ對シ師團ノ左側ヲ掩護シ後漸次八王子方向ニ退却スヘシ  
是ニ於テ幕僚間ニ現在地ニ停止シテ敵ヲ拒止スル案ト扇町屋ニ後退シテ敵ヲ拒止スル案ト依然攻撃ヲ續行スル三案起ル

第六問題

増加隊長ハ何レノ案ヲ採用スルヤ

答 解

増加隊ハ依然攻撃ヲ續行シ日没ヲ待テ八王子附近ニ退却  
セントス

研究項目

- 一 増加隊カ新タナル敵ニ對スル決心
- 二 優勢ノ敵ニ對スル攻撃
- 三 攻撃ノ爲メ地形判斷
- 四 敵カ後方ニ停止セシモノニ對スル攻撃
- 五 敵カ漸次増加セシ場合ノ決心

六 主力カ退却ニ就キタル場合ノ決心

說 明

増加隊新敵ニ對スル決心 主力方面ハ増加隊ノ來著ヲ待チツ、在ルガ新タ  
ニ主力ノ側背ニ増加隊ヨリモ優勢ナル敵ガ現出シタカラ増加隊ハ之ニ對  
シ師團ノ側背ヲ安全ナラシメルノガ至當デア  
優勢ノ敵ニ對スル攻撃 敵ハ優勢デアアルガ衝突點ハ扇町屋附近デアツテ敵  
ハ入間川ヲ渡リ錯雜地ヲ進出セネバナラヌカラ其不利ニ乘ジテ攻撃スル  
ノデア  
攻撃ノ爲メ地形判斷 扇町屋附近所澤―飯能道以西ノ地區ハ錯雜地デ優勢  
ノ兵力ヲ使用スルニ適セヌシ又其前方入間川河岸ニ斷崖ガアルカラ敵モ  
此方面ニ主力ヲ持ツテ來ナイ之ニ反シ其以東ノ地區ハ比較的運動容易デ  
殊ニ敵ヲ其主力方面カラ離隔スル爲メニモ右ニ重點ヲ持ツノガ至當デア  
ル

後方ニ停止スル敵ニ對スル攻撃 敵ガ我方ニ停止シテ守勢ヲ取ツタノハ其一部若クハ主力ヲ更ニ後方地區カラ直接川越方面ニ前進サセテ本軍ニ協力スル意圖ヲ有スルカモ知レナイカラ極力攻撃シテ之ヲ抑留スルノ必要ガアル此際増加隊ガ一部ヲ前面ノ敵ニ對サセ其他ヲ以テ川越方面ニ前進スル案ハ却テ機宜ニ適シナイ

敵漸次増加スル場合ノ決心 敵ハ漸次増加ノ模様デアアルガ既ニ敵兵ガ逐次増加ノ不利ヲ冒シテ居ルノデアアルカラ依然攻撃スルノガ至當デアアル

主力退却ニ就キタル場合ノ決心 師團方面ハ既ニ退却ニ移リツ、在ルガ増加隊ハ今一步前面ノ敵ニ對シテ攻撃ヲ緩メバ敵ハ直ニ突出シテ退却中ノ師團ノ側面ガ頗ル危険デアアル今一步後退スル如キハ到底踏止マルコトガ出來ナイ結果ニ陥ル夫故依然攻撃ヲ續行シ夜暗ヲ待ツノガ至當デアアル此間敵ガ突出セバ増加隊ハ友軍ノ爲メ犠牲トナツテ奮闘スベキデアアル

第四十四想定

(飯能、扇町屋附近)

一 相模川左岸地區ヨリ北進シ川越附近ヲ占領セル南軍ニ對シ前橋方向ヨリ前進セシ北軍(一師團半)ハ攻撃ヲ準備中ナリ

二 敵ノ側背ヲ脅威スヘキ任務ヲ以テ藤岡―大宮郷―飯能道ヲ前進シタル北軍支隊ハ十月二十日午前九時其前衛司令官大佐某、歩兵第十六聯隊(第三大隊欠)、騎兵一小隊(一分隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊(一小隊欠)、歩兵ノ先頭ヲ以テ飯能西北方久保ニ達セシトキ長澤附近ニ於テ道路ニ大故障ヲ生シ本隊ハ約三時間其行進遲延スルノ止ムナキニ至ル此時支隊長ハ次ノ報告ニ接ス

歩兵四、五大隊ヲ基幹トスル敵ハ小川方向ヨリ北進中ニシテ午前十時過ニハ所澤附近ニ達スル距離ニ在リ

川越方向ニハ砲聲稍盛ナリ

三 支隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第十六、第三十聯隊

騎兵一小隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

午前九時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

前衛ヲシテ扇町屋附近ヲ占領シテ本隊ノ進出ヲ掩護セシム

情 況

午前十一時前衛歩兵ノ先頭野田村東端ニ達セシトキ前衛

司令官ハ次ノ報告ヲ受領ス

所澤方面ヨリ前進中ノ敵ハ目下林村西北端附近ニ達スル距離ニ在リ

第二問題

午前十一時ニ於ケル前衛司令官ノ決心

答 解



前衛ハ笹井村附近ヲ占領シテ本隊ノ來著ヲ待タントス

一七〇

第三問題

笹井村附近前衛陣地占領法

情 況

本隊ハ道路ノ修築了リ午後一時其先頭飯能西北方約二吉米ニ達シタルトキ扇町屋方向ニ方リ稍烈シキ砲聲ヲ聞ク

第四問題

午後一時ニ於ケル支隊長ノ處置

答 解

先ツ砲兵ヲ急行セシメ續イテ歩兵ハ飯能東側地區ヨリ分

進シテ笹井村ニ急進セシム

情 況

午後二時十分支隊長ハ笹井村ニ到著シ敵ノ第一線ハ下廣瀬村南端ヨリ黒須西北端ニ亘ル線ニ前進セルコトヲ知ル川越方面ニハ砲聲激烈ヲ極ム

第五問題

午後二時十分ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ主力ノ集結ヲ待テ前面ノ敵ヲ攻撃セントス

研究項目

- 一 前衛ヲ以テスル隘路進出掩護
- 二 優勢ノ敵ニ對スル前衛司令官ノ決心
- 三 前衛陣地占領法
- 四 砲兵ヲ以テスル急援
- 五 前衛ヲ攻撃シツツアル敵ニ對スル攻撃

說 明

前衛ノ隘路進出掩護 敵ノ所澤ニ達スルハ十時過デアツテ果シテ全力ヲ以テ飯能方面ニ前進スルカドウカ不明デアルカラ支隊將來行動ノ自由ヲ得ル爲メ前衛ヲ以テ扇町屋附近ヲ占領セシメルノデアル優勢ノ敵ニ對スル前衛司令官ノ決心 所澤方面ノ敵ハ我ニ向ヒ前進シツク在ツテ前衛ガ扇町屋附近ヲ占領セントセバ殆ド遭遇戰トナル夫故一步後方ノ笹井村附近ヲ占領スルノガ至當デアアル  
前衛陣地占領法 前想定ト對照シテ研究セラレルガ善イ

砲兵ヲ以テスル急援 歩兵ノ長距離駆歩ハ考物デアアルガ砲兵ハ要スル場合ニハ速度ガ出ルシ又戰場ニ到着セバ砲兵馬ノ任務大部終ルノデアアルカラ斯ヤウナ場合ニハ砲兵ヲ急行サセルノガ得策デアアル尙遠距離カラ支援スルコトモ出來ル  
前衛ヲ攻撃シツク在ル敵ノ攻撃 本戰方面ハ急ヲ告グツ、アルガ今カラ一部ヲ之ニ參加サセテモ間ニ合ウカドウカ疑問デアアル夫故當面ノ敵ヲ擊破シテ敵主力ノ背後ニ出ル方ガ此場合有利デアアル而シテ兵力逐次増加ノ害ヲ避ケル爲メ大部集結シタ後攻撃前進ヲ起スヲ要スル

第四十五想定

(扇町屋附近)

- 一 府中附近集合中ノ敵ニ對シ北軍第十四師團ハ熊谷—松山—高萩道ヲ南進スルニ方リ一支隊ヲ約半日行程先遣シテ師團ノ前進ヲ容易ナラシム
- 二 該支隊ハ松山方向ヨリ南進シ十月二十一日午前十時其

二 步兵先頭ヲ以テ田木村ニ達セシトキ支隊長ハ本隊ノ先頭  
 ニ在リテ混成約一旅團ヲ下ラサル敵ハ小川方向ヨリ前進  
 中ニシテ目下其先頭所澤西北方附近ニ達スル距離ニ在ル  
 コトヲ知り根岸村附近ヲ占領スルニ決ス

三 支隊ノ編組左ノ如シ  
 長 少將某

步兵第十五聯隊及同第六十六聯隊第一大隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊(第三中隊欠)

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

支隊任務達成ノ爲メ根岸附近ノ地形判斷

答 解

支隊ハ主力ヲ以テ根岸附近ヲ占領シ一部ヲ以テ扇町屋西  
 北側附近ニ前進陣地ヲ占領スルヲ要ス

第二問題

根岸附近支隊陣地占領法

研究項目

- 一 前進陣地占領ニ關スル地形判斷
- 二 陣地占領

說 明

地形判斷 根岸附近ハ陣地トシテ相應ノ價值ヲ有スルモ優勢ノ敵ニ對シ師團ノ來著迄保持ガ出來ルカ否ナカ疑問デアアル師團來著迄ハ成ルベク決戦ヲ避ケル主旨ニ於テ一部ヲ以テ扇町屋西北側ヲ占領シタナラバ敵ノ前進ヲ遲滯セシメ得ル見込ガアル而シテ此部隊ノ笹井村方面ニ向ツテスル退却ハ比較的容易デアアル又敵トノ距離モ前進陣地ヲ占領シ得ル餘裕ガアル陣地占領 前進陣地占領部隊ニ砲兵ヲ加ヘルカ又歩兵ヲ一大隊トスルカ夫レ以下トスルカハ研究ヲ要スルノデアアル砲兵ヲ附スレバ效力ハアルガ野砲デアアルカラ撤退ガ困難デアアル夫故歩兵ヲ比較的多ク即チ一大隊トシテ之ニ機關銃ヲ附ケタナラバ有利デアアル

本陣地ハ上廣瀬村方面ヲ比較的多クノ部隊ヲ以テ占領スルコトガ必要デアアル是レ此方面ハ多分敵ノ主攻撃方面デアルト共ニ砲兵モ此方面ニ一部ヲ置イテ入間川上流方面ヲ縱射サセタナラバ黒須村カラノ遮蔽地ヲ利用シテ笹井村方面ニ接近スル敵ヲ制スルコトガ出來ル尙砲兵ノ他ノ部分ハ笹井村方面ニ置イテ入間川村方面ニ對スルヤウ即チ砲兵ハ此場合交叉射

撃ヲ以テ敵ニ安全地域ヲ與ヘナイヤウニスルノデアアル

其他入間川村方面カラ遠ク迂回スル敵ニ對スル顧慮モ必要デアアル

左翼ハ上廣瀬村ニ止メテ其東北方林縁ニ豫備工事ヲ施シテ左翼ヲ包圍シヨウトスル敵ニ對スル注意ガ必要デアアル

第四十六想定

(扇町屋附近)

一 熊谷方向ヨリ南下スル敵ニ對シ入間川左岸地區ヲ領有シ後續師團ノ前進ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ以テ小川一所澤―扇町屋道ヲ前進スル南軍支隊ハ十月二十一日午前十時三十分其歩兵先頭ヲ以テ林村東南端ニ達セシトキ支隊長ハ本隊ノ先頭ニ在リテ前衛騎兵ヨリ次ノ報告ヲ受領ス

諸兵連合ノ敵ハ高萩方向ヨリ南進中ニシテ午前十時ニ

二

ハ其先頭田木村ニ達スル距離ニ在リテ其兵力未詳ナリ

支隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第一、第二聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

午前十時三十分ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ依然前進ヲ續行セントス

情 況

午前十時三十分支隊ノ先頭下藤澤村西北端ニ達セシト

キ更ニ次ノ報告ヲ受領ス

敵ノ先頭ハ午前十時扇町屋西北側高地ニ達シ該地附

近ヲ占領中ナリ

第二問題

午前十時三十分ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ前衛ヲ以テ扇町屋東南方林縁附近ヲ占領セシメ本

隊ハ下藤澤村北側附近ニ開進セントス

情 況

其後諸偵察ノ結果敵ノ主力ハ根岸附近ヲ占領中ニシテ扇町屋附近ハ其前進陣地ナルコトヲ知り直ニ攻撃スルニ決ス

第三問題

扇町屋附近敵陣地攻撃ノ爲メ地形判斷

答 解

支隊ハ主力ヲ入間川村南方約千五百米林縁附近ニ集結シ前衛ヲ以テ扇町屋西北側附近ノ敵ヲ攻撃セシムルヲ要ス

研究項目

- 一 兵力不明ノ敵ニ對スル攻撃ノ決心
- 二 敵カ陣地ヲ占領シ始メタルコトヲ知り主力ノ開進
- 三 前進陣地ヲ占領セル敵ニ對スル攻撃

說 明

兵力不明ノ敵攻撃決心 任務之ヲ要求シ兵力不明デアルカラ攻撃ノ決心ヲ以テ前進スルコトハ殆ド説明ヲ要シナイト思フ

敵ノ陣地占領ニ對シ主力ノ開進 敵ハ陣地ヲ占領シ始メタガ果シテ一部デアルカ或ハ主力デアルカ或ハ扇町屋附近ヲ占領シタノハ前衛デアツテ其後方部隊ハ前進中ニアルカ否ナカ不明デ目下特ニ急グ必要ハナイカラ慎重ニ開進スルニ決シタノデアル

前進陣地占領ノ敵攻撃 愈々前進陣地ト判明シタ以上全力或ハ主力ヲ以テ之

ヲ攻撃スルノ必要ナク左リトテ今カラ直ニ本陣地ニ對スル攻撃區處モ取  
レナイカラ主力ハ爾後ノ情況ニ依ツテ如何様ニモ應ジルコトノ出來ル姿  
勢ヲ取リ一部ヲ以テ攻撃サセタノデアル

一八二

第四十七想定

(扇町屋附近)

- 一 府中附近ニ集合中ノ敵ニ對シ北軍第十四師團ハ二縱隊  
トナリ熊谷―松山―川越道(主力)及兒玉―坂戸―高萩道(右  
縱隊)ヲ南進中ナリ
- 二 右縱隊ハ十月二十二日午前九時其步兵先頭ヲ以テ根岸  
村ニ達セシトキ次ノコトヲ知ル
  - 一 約一師團ノ敵ハ府中方向ヨリ北進中ニシテ午前九時  
ニハ其先頭所澤ニ達スル距離ニ在リ
  - 二 左縱隊ノ先頭ハ今ヨリ一時間後ニハ川越ニ達スル筈

ナリ

三 右縱隊ノ編組左ノ如シ

- 長 少將某
- 歩兵第十五聯隊及同第六十六聯隊第一大隊
- 騎兵一小隊
- 野砲兵第一大隊(第三中隊欠)
- 工兵第一中隊
- 衛生隊半部

問 題

午前九時ニ於ケル右縱隊長ノ決心

答 解

一八三

右縦隊ハ一部ヲ以テ扇町屋附近ヲ占領シ主力ハ根岸附近ニ集結シテ師團主力ノ進出ヲ待タントス

研究項目

- 一 準備陣
- 二 攻勢的前進陣地占領

説 明

師團主力ガ右縦隊ノ齊頭面ニ進出スルハ今カラ約二時間半ノ後デアツテ夫カラ大部ノ展開了ル迄ハ少クモ二時間ヲ要スル目下所澤附近ニ達シタ敵ハ一部ヲ以テ川越方向ニ對シ主力ヲ以テ右縦隊ヲ攻撃シ來ルカ或ハ一部ヲ以テ右縦隊ニ對シ主力ヲ以テ川越方向ニ前進スルカ不明デアアルガ敵トシテハ主力カラ孤立シテ突出セル我右縦隊ヲ先ヅ撃破スルコトヲ計ルノハ至當デアルカラ右縦隊ハ今カラノ前進ハ危險デアアル併シ根岸附近ニ固著シテ仕舞

ヘバ敵ハ一部ヲ以テ我ニ對サセ主力ヲ以テ川越方向ニ前進スル場合ニ直ニ之ニ應ジルコトガ出來ナイ夫故右縦隊ハ敵ガ主力ヲ以テ我ヲ攻撃シテ來タナラバ現在地附近ヲ占領スベク若シ大部ヲ以テ北進シヨウトシタナラバ之ヲ抑留スル策ニ出ヅベク何レニデモ應ジ得ル姿勢ニ在ルコトガ必要デアアル扇町屋附近ハ東南方ニ對シテハ薄弱デアアルカラ敵ガ主力ヲ以テ我ニ向ツテ前進シテ來タ場合到底支ヘ得ナイ左リトテ之ヲ放棄シタナラバ敵ガ一部ヲ以テ扇町屋附近ヲ占領シタ場合右縦隊ノ進出ガ容易デナイ夫故敵ガ有力ナ部隊ヲ以テ前進シテ來タ場合ニハ之ヲ第四十五想定ノヤウニ持久的ニ利用シ一部ヲ以テ前進シテ來タ場合ニハ之ヲ攻勢ノ據點ニ利用スル考案デアアル此場合ハ守勢ニ若干重キヲ置クガ攻守何レニモ確定シナイ場合ノ準備陣ノ取リ方デアアル

第四十八想定

(所澤、川越、扇町屋間)

熊谷方向ヨリ南進スル敵ヲ撃攘スヘキ任務ヲ以テ府中方向



ヨリ北進シタル南軍第一師團ハ十月二十二日午前九時其先頭ヲ以テ所澤ニ達セシトキ師團長ハ次ノコトヲ知ル

- 一 歩兵約四大隊ヲ基幹トスル敵ハ高萩―扇町屋道ヲ南進中ニシテ其先頭目下根岸附近ニ達スル距離ニ在リ
- 二 松山方向ヨリ南進スル敵ノ一縦隊ハ今ヨリ約一時間後ニハ川越附近ニ達スル距離ニ在リテ其兵力歩兵約七八大隊ヲ基幹トスルモノノ如シ
- 三 此附近ノ森林ハ概シテ部隊ノ通過ヲ許ス

問 題

南軍第一師團長ハ如何ニシテ作戰ヲ指導セントスルヤ

答 解

歩兵一旅團野砲兵一大隊ヲ基幹トスル一部隊(左縦隊)ヲ以テ根岸方向ノ敵ヲ撃破シタル後成ルヘク多クノ兵力ヲ以テ本戰參與ヲ企畫セシメ主力ハ神米金村附近ニ集結シ北方ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備スルヲ要ス

情 況

午前十時左縦隊ノ先頭林村ニ達シタルトキ根岸方向ノ敵ハ爾後前進ノ模様ナキコトヲ知ル

第二問題

午前十時ノ情況ニ於テ師團長ノ計畫ニ變化ナキヤ

答 解

左縦隊ノ兵力ヲ步兵一聯隊、野砲兵一大隊トシ扇町屋附近ヲ占領シテ師團ノ左側ヲ掩護セシメ其他ノ主力ヲ以テ川越方向ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備スルヲ要ス

一八八

情 況

午前十一時三十分ヨリ午後一時ニ涉リ左縦隊ハ扇町屋附近ノ敵ノ一部ヲ驅逐シ午後一時三十分扇町屋附近ヲ占領ス前面ノ敵ハ依然根岸附近ヲ占領シ在リ  
正午過ヨリ中福村方向ニ方リ砲聲起リ漸次激烈トナリ師團主力ハ中福村附近ニ於テ川越方向ヨリ南下セシ敵ト交戦中ナルコトヲ知ル

第三問題

午後一時三十分ニ於ケル左縦隊長ノ決心

答 解

左縦隊ハ主力ヲ以テ現在地附近ヲ占領シ一部(步兵一大隊、野砲兵一中隊)ヲ以テ堀兼村附近ヲ經テ今福村附近ニ轉進シ本戦ニ參與セシム

研究項目

- 一 二方面ニ在ル敵ニ對スル作戰
- 二 一方ノ敵ヲ停止セシ場合ノ處置
- 三 本戦參與

說 明

二方面ニ在ル敵ニ對スル作戰 根岸方面ノ敵ヲ主力ヲ以テ攻撃シタナラバ  
 將來川越方向ノ敵ニ對シ不利ナル形勢ニ陥ルダラウ又川越方面ニ主力ヲ  
 以テ前進セントスルモ左側背ニ進出シタ敵ノ有力ナル部隊ニ對シ不利デ  
 アルカラ師團ハ大部ヲ集結シ有力ナ一部ヲ以テ最モ接近セル敵ヲ攻撃ス  
 ル方策ヲ取ツタノデア  
 一方ノ敵ガ停止セシ場合ノ處置 第一問題ノ案ハ根岸方面ノ敵ガ依然前進  
 スルモノト判斷シテ取ツタ方法デア  
 然ルニ根岸附近ノ敵ガ停止シタカ  
 ラ之ヲ擊破スルコトモ容易デナク又扇町屋附近ヲ占領シタナラバ一部ヲ  
 以テシテモ敵ヲ拒止スルコトガ出來ルカラ兵力ヲ減ジタノデア  
 反對ニ  
 最初兵力ヲ少ナクシテ敵ガ續イテ前進スル報ヲ得タトキ増加シテモ善イ  
 様デア  
 ルガ夫レデハ時機ヲ失スル虞ガアルカラデア  
 本戰參與 既ニ射界ノアル陣地ヲ占領シタノデア  
 ルカラ一兵デモ多ク決戰  
 方面ニ兵力ヲ用ヒル主旨ニ基イタノデア  
 ル

第四十九想定

(飯能、扇町屋附近)

- 一 東西兩軍ハ相模川ヲ挾ンテ相對峙ス
- 二 軍ニ策應シ其作戰ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ有スル西  
 軍第十三師團ハ其主力ヲ以テ高崎―川越道ヲ、一部(右側支  
 隊)ヲ以テ大宮郷―飯能道ヲ前進中ナリ
- 三 右側支隊ハ師團主力ノ川越附近ニ於ケル進出ヲ容易ナ  
 ラシムヘキ任務ヲ以テ前進シ十月二十三日午前九時前衛  
 歩兵ノ先頭ヲ以テ飯能村北端ニ達ス  
 此時迄ニ支隊長ノ知り得タル情況左ノ如シ
  - 一 約一師團ノ敵ハ東京方向ヨリ川越街道及飯能―所澤  
 ―中野道ヲ略齊等面ニ在リテ前進中ニシテ所澤方向ヲ  
 前進中ノ兵力ハ歩兵四、五大隊ヲ基幹トスルモノノ如ク

其先頭目下下藤澤村ニ達シタル筈ナリ又此敵ノ北側地  
區ニモ若干ノ敵兵併進スルモノノ如シ

二 師團主力ハ本二十三日早朝小前田南方荒川ノ線ヲ通  
過シ川越ニ向ヒ前進スル筈ナリ

四

右側支隊ノ編組左ノ如シ

長 大佐某

歩兵第五十八聯隊

騎兵一小隊

野砲兵第一中隊

工兵一小隊

衛生隊半部

輜重ノ一部

第一問題

午前九時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ飯能附近ヲ占領セントス

第二問題

飯能附近支隊陣地占領

研究項目

- 一 隘路前ノ防禦ニ關スル決心
- 二 防禦配備

說 明

隘路前ノ防禦ニ關スル決心 師團主力ハ遙カ後方ニ在ルカラ支隊ハ今カラ  
前進スルノハ徒ラニ各箇擊破ノ不利ニ陥ルバカリデアアルカラ現在地附近  
ヲ占領スルニ決シタノデアアル

防禦配備 此附近ニ於テ現在ノ情況ノ下ニ純然タル持久防禦ヲ爲スカ或ハ  
攻勢的ニ陣地ヲ占領スルカハ大ニ研究ヲ要スルノデアアル飯能附近隘路口  
ノ直接防禦ヲ爲セハ堅固デアアルガ其代リ師團主力ニ協力スル爲メ進出  
スルコトガ困難デアアル所澤方面カラ前進スル敵ハ四、五大隊デアツテ其北  
方ヲ併進シタモノヲ加ヘテモ旅團以上トハ思ハレナイナゼナラバ敵ハ斯  
ノヤウナ兵力使用ハ恐ラクシナイカラデアアル又川越街道ヲ前進中ノ敵ガ  
飯能方面ニ轉進スルモノトモ思ハレナイ夫故大ナル懸隔ハナイカラ地形  
ヲ利用シテ決戰防禦ノ手段ヲ取り止ムヲ得ナイ場合ヲ顧慮シテ持久的ノ  
豫備陣地モ構築シテ置ク必要ガアル

其配備ハ青木村西南側高地ヲ步兵一中隊ヲ以テ占領シテ攻勢ノ據點トシ  
中山村東端及前ヶ貫村西北側高地モ一小部隊ヲ以テ占領シ砲兵ヲ飯能村

西北側高地上ニ置キ其他ノ歩兵主力ヲ中山村南側ニ集結スル  
持久ノ場合ヲ顧慮シ中山村北側高地ニ堅固ナル工事ヲ施シテ置ク

第五十想定

(飯能、扇町屋附近)

一 高崎方向ヨリ南下スル敵ニ對シ南軍第一師團ハ川越街  
道ヲ北進中ナリ

二 大宮郷方向ヨリ前進スル敵ニ對シ師團ノ左側ヲ掩護シ  
爲シ得レハ之ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル南軍左側支隊ハ  
所澤—飯能道ヲ前進シ十月二十三日午前十時其先頭ヲ以  
テ笹井村ニ達シタルトキ敵ハ約一時間前飯能村附近ニ達  
シ陣地ヲ占領中ナルコトヲ知り此敵ヲ攻撃スルニ決ス

三 左側支隊ノ編組左ノ如シ  
長 少將某

步兵第一聯隊及同第四十九聯隊第一大隊  
 騎兵一小隊  
 野砲兵第一大隊(第三中隊欠)  
 工兵第一中隊  
 衛生隊半部

問 題

飯能附近ノ敵陣地攻撃ノ爲メ地形判斷

研究項目

隘路前ヲ占領セル敵ヲ攻撃スル爲メ地形判斷

說 明

前想定ニ於テ研究シタヤウナ配備ヲ防者ガ取ルモノト判斷シテ此攻撃ノ爲

メ特ニ著眼スベキハ敵陣地ノ左側青木村北方高地ヲ一部ヲ以テ攻撃シ隘路  
 前防禦ノ一方ノ關門ヲ落シサウシテ後正面カラ攻撃スルコトデアアル此際注  
 意スベキコトハ青木村北側高地方面ニ大ナル兵力ヲ使用シタナラバ敵ノ出  
 撃ニ際シ正面ニ於ケル兵力ガ薄弱トナルコトデアアル

第五十一想定

(扇町屋附近)

一 相模平地ヨリ前進スル敵ニ對シ高崎方向ヨリ南進スル  
 師團ノ前進ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ有スル北軍支隊ハ  
 高萩ヲ經テ十月二十四日朝根岸附近ニ達シ該地附近ヲ占  
 領シテ八王子方向ヨリ前進シタル歩兵六、七大隊ヲ基幹ト  
 スル敵ノ攻撃ヲ受ケツツ在リテ午前十一時ニ於ケル彼我  
 ノ情況次ノ如シ

一 歩兵第六十六聯隊第一大隊ヲ以テ笹井附近ヲ占領ス

- 二 歩兵第十五聯隊長ノ指揮スル歩兵二大隊ト二中隊ハ  
笹井村東北側附近ヨリ上廣瀬村ニ亘ル間其内一中隊ヲ  
以テ上廣瀬北方約千五百米林縁ヲ占領ス
- 三 野砲兵一中隊宛根岸北側及上廣瀬北側ニ陣地ヲ占領  
ス
- 四 騎兵中隊ノ主力ハ柏原村方面ニ在リテ對岸ニ在ル略  
同等ノ敵騎ト相對ス
- 五 歩兵二中隊工兵一中隊ハ支隊長ノ豫備トシテ根岸北  
方本道出口ニ在リ
- 六 敵ノ歩兵ハ黒須附近ヨリ入間川村西方地區ニ亘ル間  
ニ展開シ目下我陣地前五、六百米ニ接近シ其重點ハ下廣  
瀬村以北ニ在リテ該方面ハ殆ト高地端ニ達セントシ敵

- 二 砲兵ノ主力ハ入間川村西南方一部ハ扇町屋方面ニ在リ  
テ彼我ノ銃砲火激烈ヲ極ム
- 三 此時支隊長ハ師團ノ行進遲延セシ通報ニ接シ直ニ陣地  
ヲ撤シ宮鼻村附近ニ退却スルニ決ス
- 支隊ノ編組左ノ如シ
- 長 少將某
- 歩兵第十五聯隊及同第六十六聯隊第一大隊
- 騎兵第一中隊
- 野砲兵第一大隊(第三中隊欠)
- 工兵第一中隊
- 衛生隊半部

問 題

支隊ハ如何ニシテ戰場ヲ離脱セントスルヤ

1100

研究項目

戰況困難ナル場合ニ於ケル退却法

説明

敵ハ主力ヲ我左翼側ニ向ケ甚シク第一線ニ近迫シテ居ルカラ支隊ノ戰場離脱ハ頗ル困難デアアル但此ノヤウナ場合ニ全力ヲ賭シテ決戦ヲスルカ退却スルカハ別問題デアツテ支隊長ハ全般ノ關係上退却ニ決シタノデアアルカラ如何ニシテ戰場ヲ離脱スルカハ研究問題デアアル此際其方法宜シキヲ得ナカツタナラバ萬寶山ノ二ノ舞ヲ演ズルノデアアル  
支隊ハ目下若干ノ豫備隊ヲ有スルモ現陣地以北ニ於テハ適當ナ收容陣地ガナク現在ノ林縁ニ於テ收容セントスルモ忽チ敵ニ肉薄セラレルニ至ルデアラウ夫故此際支隊長ハ工兵ノ一部ヲ砲兵ノ直接護衛ト援助ニ任ジル爲メ殘

シ其他ノ全豫備隊ヲ擧ゲテ歩兵操典第二部第八十一ノ末尾ニ示ス要領ニ依ツテ敵ノ主攻撃方面ニ對シ斷然逆襲ヲ行フヨリ外ニ方法ハナイ斯ウシテ一度敵ノ氣鋭ヲ挫イタ機ヲ利用シテ離隔ヲ計ルノデアアル之ヨリ先キニ衛生隊ハ撤退サセ逆襲ヲ行ツタ時機ニ砲兵ヲ退ケ續イテ第一線ハ敵ノ最モ肉薄シテ居ル部分ニ各一部ヲ殘シ其他ハ全線同時ニ退却シテ北方森林内ニ退却スルノデアアル左スレバ爾後ノ退却ハ比較的容易デアアル  
騎兵ハ此際友軍ノ危急ヲ救フ爲メ敵ノ翼ニ向ヒ斷然襲撃ヲ爲スベキデアアルサウシテ爾後左翼方面ノ警戒ガ必要デアアル

第五十二想定

(扇町屋附近)

一 高崎方向ヨリ南進シテ根岸附近ヲ占領セル敵ヲ、八王子方向ヨリ前進シタル南軍混成第一旅團ハ十月二十四日朝ヨリ一部ヲ以テ黒須方面ヨリ、主力ヲ以テ下廣瀬村以北ヨリ攻撃シ午前十一時過殆ト敵陣地ニ肉薄スルヤ敵ハ此時

1101



逆襲ヲ爲シ其機ニ乘シ退却ヲ始メタリ  
正午敵陣地ハ奪取シ得タルモ尙其北方林縁ニハ敵ノ一部  
殘存シ在リテ第一線部隊ハ之ニ向テ追撃中ナリ

二 旅團ノ編組左ノ如シ

- 長 少將某
- 步兵第一、第二聯隊
- 騎兵第一中隊
- 野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊
- 工兵第一中隊
- 衛生隊半部
- 輜重ノ一部

問 題

旅團追撃ノ爲メ地形判斷

研究項目

錯雜地ニ於ケル追撃ノ爲メ地形判斷

說 明

根岸以北ニ於テ敵ノ抵抗シ得ルハ宮鼻附近デアアル此間ノ地形ハ大部森林ヲ以テ滿タサレタ錯雜地デアアルカラ旅團ノ全力ヲ以テ此錯雜地内ニ進入スレバ敵ノ一部ニ行進ヲ遲滞セシメラレ各部隊ハ混雜ヲ起シ收集スルコトノ出來ヌヤウニナルカモ知レナイ夫故一部ヲ以テ此方面カラ追撃シ主力ハ旅團長直ニ之ヲ纏メテ入間川ニ沿ヒ宮鼻村ニ向ツテ迂回スルノガ適當デアアル

第五十三想定

(川越附近)

一 高崎方向ヨリ荒川右岸地區ヲ經テ東京進入ノ企圖ヲ有

スル北軍第十三師團ハ一支隊ヲ川越附近ニ先遣シ同地附近ヲ占領シテ師團ノ進出ヲ容易ナラシム

二 該支隊ハ高崎—川越道ヲ前進シ十月二十五日正午其歩兵先頭ヲ以テ川越西北端小久保村ニ達ス此時迄ニ支隊長ハ次ノコトヲ知ル

一 約混成一旅團ノ敵ハ本二十五日午前十時其歩兵先頭ヲ以テ上板橋ヲ通過シ川越街道ヲ前進中ナリ

二 我師團主力ハ本夕小前田附近ニ到著スル筈

三 支隊ノ編組左ノ如シ

長 大佐某

歩兵第五十八聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊第三中隊欠

工兵一小隊

衛生隊半部

輜重ノ一部

第一問題

二十五日正午ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ川越南端附近ヲ占領セントス

第二問題

川越附近支隊防禦配備

研究項目

- 一 防禦ニ關スル決心
- 二 住民地防禦

説 明

決心 支隊ハ更ニ前進セバ約倍數ノ敵ニ對シ各箇擊破ノ機會ヲ與ヘ又之カラ後方ヲ占領スルノハ一般ノ關係上善クナイ夫故敵ノ接近迄堅固ナル工事ヲ爲シ師團ノ來着ヲ待ツニ決シタノデアアル

防禦配備 鐵道線路カラ大仙波村川越街道出口東南側ニ亘ル間ヲ一大隊ヲ以テ堅固ニ占領小仙波村東南端モ一部ヲ以テ占領次ニ野田村南端八王子街道出口カラ野田新田村ニ亘ル間ヲ三中隊ヲ以テ占領砲兵ハ長松寺西北側附近及小仙波村南側附近ニ陣地ヲ占領スル歩兵一大隊及工兵ヲ豫備隊トシテ中央後脇田村附近ニ位置サセ陣地掩蔽ノ爲メ一部隊ヲ岸村カラ大

塚新田北方ニ亘ル間ニ配置スル

第五十四想定

(川越附近)

- 一 川越ヲ占領スヘキ任務ヲ以テ東京方向ヨリ川越街道ヲ前進シタル南軍混成第一旅團ハ十月二十五日午後二時其前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ大井町ニ達ス此時迄ニ旅團長ハ次ノコトヲ知ル
  - 一 諸兵連合ノ敵ハ高崎方向ヨリ前進シ本二十五日正午頃川越ニ達シ同地南端附近ヲ占領シ其一部隊ハ岸村附近ヨリ大塚新田北方地區ニ亘ル間ニ在リ
  - 二 川越東南側ノ水田ハ深クシテ徒歩兵ノ通過モ困難ト
  - 三 信スヘキ諜報ニ依レハ敵ノ後續部隊ハ約一日行程ヲ

二

距テテ前進中ナリ

混成第一旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第一、第四十九聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

輜重若干

第一問題

午後二時ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ本日中ニ諸準備ヲ整ヘ明拂曉前面ノ敵ヲ攻撃セシ  
トス

情 況

夕刻迄ニ諸偵察ノ結果次ノコトヲ知ル

敵ノ陣地ハ大仙波村(川越街道出口)附近ヨリ野田新田附

近ニ亘リ構築セラレ在リ其砲兵陣地ラシキモノハ停車

場西南側附近ニ在リ

第二問題

拂曉ニ於ケル攻撃區處

研究項目

- 一 拂曉攻撃ニ關スル決心
- 二 拂曉攻撃區處

説 明

●● 決心 敵ノ後續部隊ハ約一日行程ヲ距テ、前進中ニ在ルトノコトデアルカラ或ハ明二十六日午前中ニハ川越附近ニ到着スルカモ知レナイ之ガ爲メ旅團ノ攻撃ハ成ルベク早イノガ善イガ今カラ尙敵陣地前ニ接近シテ開進了ル頃ニハ日没トナリ天光ヲ利用スルコトモ出來ネバ又夜間攻撃ノ爲メニモ準備時間不充分デアアル夫故本日中ニ充分ナル準備ヲ爲シ明拂曉攻撃スルノガ至當デアアル

●● 攻撃區處 川越東南側水田ハ通過困難デ川越街道方面ハ岸村附近ノ臺ガ敵ニ接近シテ居ルカラ拂曉前此臺上ニ於テ準備スルニ方ツテ敵ノ妨害ヲ受

ケル虞ガ多イ夫故其以西ノ地區カラ攻撃スルノガ至當デアアル

川越街道以西ノ地區ニ於テ敵ノ最右翼ニ向フ攻撃ハ夜暗ノ運動トシテハ餘リ巧妙ニ過ギルノト背後連絡線ヲ全ク變更セネバナラヌト攻撃中或ハ敵ガ左側ニ現出スルカモ知レナイカラ最モ單純デアツテ準備ノ容易ナ所澤一川越道方面カラ敵ノ正面ニ向ツテ攻撃スルノガ至當デアアル

攻撃準備ノ線ハ新宿村ヲ東西ニ通ズル片點線路ノ線ニ選ビ氷川祠以東ニ一聯隊其左翼ニ二大隊一大隊ノ豫備ヲ新宿村南方地區ニ砲兵ハ一部ヲ岸村北方臺上ニ主力ハ氷川祠西南方地區ニ陣地ヲ占メ騎兵ハ左翼特ニ宮鼻方面ヲ搜索サセ衛生隊ハ新宿村南方約千米附近ニ開設サセル

第五十五想定

(川越附近)

一 東京方向ヨリ前進スル敵ヲ川越以南ニ於テ拒止シ爲シ得レハ之ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル北軍支隊ハ高崎方向ヨリ前進シ十月二十六日午前十時其歩兵先頭ヲ以テ川越

南端大仙波村ニ達セシトキ支隊長ハ次ノユトヲ知ル

步兵五六大隊野砲十數門ヲ有スル敵ハ川越街道ヲ北進

中ニシテ目下其先頭龜久保村附近ニ達スル距離ニ在リ

二 支隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第十五聯隊及同第六十六聯隊第一大隊

野砲兵第一大隊第三中隊欠

騎兵第一中隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

午前十時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ川越南側附近ニ兵力ヲ集結シ決戦防禦ヲ爲サント  
ス

情 況

支隊ハ步兵ノ一小部隊ヲ岸村ヨリ豊田新田東方地區ニ亘

ル間ニ配備シ砲兵ヲ停車場西南側附近及所澤一川越街道

ノ出口ニ配備シ主力ヲ西部大仙波村南側附近ニ集結ス

正午敵ノ步兵先頭岸村附近ニ達シ我一部ハ之ニ驅逐セラ

ル

午後零時三十分支隊長ハ次ノ報告ヲ受領ス

岸村附近ニ達セシ敵ハ步兵約二大隊位ニシテ其他ハ龜

久保村西北方ニ前進中ニシテ其先頭正午龜久保村西北端ヲ通過セリ

第二問題

午後零時三十分ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ今ヨリ直ニ出撃セントス

研究項目

- 一 決戦防禦ニ關スル決心
- 二 攻勢移轉ノ時機

説 明

第一ノ決心 敵ノ兵力ハ我カラ見レバ一、二大隊優勢デ支隊ハ依然前進セバ

藤間村附近ニ於テ衝突シ地形上敵ノ方ガ却テ有利デアアル夫故現在地附近ニ兵力ヲ集結シ敵ガ岸村以北ノ臺上ニ上リ其砲兵ノ援助ヲ缺イテ居ル時機ニ乗ジテ出撃スル計畫ヲ立テルナラバ成效ノ見込ガアル

第二ノ決心 前述ノ考案ヲ以テ兵力ヲ集結シテ待機ノ姿勢ニアツタガ今ヤ敵ノ前衛ラシキモノ暴進シ其本隊ハ遙カ後方ニ於テ轉進中デアアル此敵ノ過失ニ乗ジ其前衛ヲ擊破シ續イテ本隊ノ側面ニ突出スルナラバ成效ノ見込ガアル是レ決戦防禦ニ於テ乗ズベキ一ノ機會デアアル決戦防禦ヲ爲スニハ地形判断上如何ナル時機ニ出撃スルカヲ豫定シ置キ其間敵ノ過失ヲ發見シタナラバ直ニ之ニ乗ジルコトハ本想定ノヤウナルヲ要スル

本想定ニ於ケル敵ノ方ノ研究ハ新タニ想定ヲ設ケナイデモ之デ會得セラレルデアラウト思考スル即チ攻者トシテハ主力ヲ西方ニ移轉スルノハ善イガ前衛ヲ岸村迄前進サセタノハ善クナイ機動演習等ニ於テモ此ノヤウナコトハ能クアルコトデアアル全般ノ情況ヲ考ヘナイデ尖兵長ナリ尖兵中

隊長ガ敵ニ衝突スル迄ズン、前進シテ前兵長前衛司令官ハ知ラズ識ラズ之ニ隨從スルコトガ屢アル即チ此場合旅團長トシテハ前衛ヲ藤間村附近ニ止メテ其掩護ニ依ツテ主力ヲ轉進サセ下松原村北側地區デ開進サセ充分御膳立ガ出來タ後前方ニ推進スレバ善イノデアアル但防者トシテハ此場合夫レヲ豫期シ川越南側附近ニ於テ我有效ナル砲兵援助ノ下ニ決戰シヨウトシタノガ圖ラズ好機會ヲ得タノデアアル出撃時機ヲ豫定シテ置ケバ自然ニ夫迄待ツコト、ナツテ好機會ヲ逸スルコトガ多イ是レ決戰防禦ヲ爲ス指揮者ハ大ニ活眼ヲ要スル所以デアアル

第五十六想定

(川越附近)

- 一 荒川右岸ヲ北進スル敵ノ前進ヲ遲滯シ爲シ得レハ之ヲ擊攘スヘキ任務ヲ以テ熊谷、松山ヲ經テ前進シタル北軍支隊ハ十月二十六日夜川越町附近ニ宿營セリ
- 二 此夜午後八時迄ニ支隊長ハ左ノコトヲ知ル

三

川越街道ヲ北進セシ敵ハ本二十六日夕大井町附近ニ達シ宿營セリ其兵力詳カナラサルモ砲兵二、三中隊ヲ有スルモノノ如シ

支隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第十五聯隊及同第六十六聯隊第一大隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊(第三中隊欠)

工兵第一中隊

衛生隊半部

輜重ノ一部

第一問題



十月二十六日午後八時ニ於ケル支隊長ノ決心

二二八

答 解

支隊ハ新宿村附近ヲ占領シ敵ノ進出ヲ待テ攻勢ニ轉セ  
トス

情 況

支隊ハ右ノ決心ニ基キ十月二十七日拂曉前陣地ヲ占領ス  
敵ハ拂曉過ヨリ我陣地前ニ現ハレ大塚新田附近ヨリ岸村  
附近ニ亘ル線ニ展開シ攻撃ヲ開始ス

午前七時彼我ノ銃砲聲漸ク激烈ナラントスルトキ支隊長  
ハ次ノ諸情報ニ接ス

一 前面ノ敵ハ少クモ混成一旅團ヲ下ラサルモノノ如ク

更ニ敵ノ若干部隊ハ今朝戰場ニ到着セシコト確實ナリ  
二 支隊増援ノ爲メ歩兵第六十六聯隊(第一大隊欠)ハ足利  
方向ヨリ南進中ニシテ本二十七日正午ニハ松山ニ達ス  
ル筈ナリ

第二問題

午前七時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ今ヨリ直ニ松山ニ向ヒ退却セントス

第三問題

支隊退却ノ爲メ川越附近ノ地形判斷

二二九

注意 川越西北側水田ハ耕地整理ヲ實施セシ爲メ通過  
シ得、入間川モ合流點迄ハ徒渉スルヲ得

答 解

收容隊ヲ以テ上戸村附近ヨリ上寺山村附近ニ亘ル線ヲ占  
領セシメ支隊ノ主力ハ松山及宮鼻ニ通スル道路ヲ退却ス  
ルヲ要ス

第四問題

收容隊步兵一大隊、機關銃一小隊、野砲兵一中隊、工兵一小隊  
ノ陣地占領

研究項目

- 一 決戦防禦ニ關スル決心
- 二 退却ニ關スル決心
- 三 退却ノ爲メ地形判斷
- 四 收容隊ノ陣地占領

說 明

決戦防禦ノ決心 敵ノ兵力ハ砲數ヨリ判斷スルニ我カラ見レバ若干優勢デ  
アルカモ知レナイ又任務ハ絶對ニ攻撃ヲ要求シナイカラ決戦防禦ノ決心  
ヲ取ツタノデアアル

退却ノ決心 敵ハ漸次増加ノ模様ガアツテ支隊ノ増援隊ハ正午漸ク松山ニ  
達スル豫定デアアルカラ現陣地ニ於テ其來著迄到底維持ノ出來ル見込ナク  
又出撃ノ機會モ今迄發見シ得ナイサウシテ戰況ハ目下左程切迫シテ居ナ  
イカラ退却ニ決シタノデアアル

退却ノ爲メ地形判斷 退却ノ爲メニハ成ルベク多クノ道路ヲ利用スルノガ

有利デアアルカラ主力ハ松山及宮鼻ニ通ズル兩道路ヲ退却シ而シテ之ニ急  
追シ來ル敵ヲ支ヘテ本隊ノ退却ヲ安全ニスル爲メニハ上寺山村附近ニ收  
容陣地ヲ占メルノガ適當デア  
收容隊ノ陣地占領法 收容隊ノ陣地占領ハ步兵一中隊宛ヲ以テ上寺山村ノ  
南側及其西南無名部落南側(機關銃ヲ附ス)及上戸村南端ヲ占領シ他ノ一中  
隊ハ無名部落北側ニ在ツテ豫備砲兵ハ上寺山村西端附近ニ陣地ヲ占領スル

第五十七想定

(川越附近)

- 一 北軍ハ高崎方向ヨリ南進中ニシテ南軍ハ東京西部ニ集  
合中ナリ
- 二 軍ノ前進ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ以テ先遣セラレタ  
ル南軍支隊ハ十月二十六日夜大井町附近ニ達シ宿營シ此  
夜敵ハ川越附近ニ陣地ヲ占領セシユトヲ知り翌二十七日

拂曉ヨリ攻撃ヲ準備シ午前七時三十分其第一線ヲ以テ岸  
村北端ヨリ大塚新田東北方稻荷祠附近ニ達セシトキ前面  
ノ敵ハ退却ヲ開始セシユトヲ知ル

- 三 支隊ノ編組左ノ如シ
  - 長 少將某
  - 歩兵第三、第五十七聯隊(第三大隊欠)
  - 騎兵第一中隊
  - 野砲兵第一大隊
  - 工兵第一中隊
  - 衛生隊半部
  - 輜重若干

問 題

支隊追撃ノ爲メ川越附近ノ地形判斷

研究項目

追撃ノ爲メ地形判斷

説明

敵ハ川越市街内及其西側地區ヲ退却スベク支隊ガ之ニ對シ川越市街内ニ多クノ部隊ヲ進入セシメタナラバ敵ノ一部ノ爲メ拒止セラレ易イカラ主力ハ其西側地區ヲ追撃スルノガ善イ而シテ歩砲兵共速ニ野田新田附近ニ進出シテ退却中ノ敵ニ向ツテ追撃射撃ヲ爲スコトガ此場合特ニ緊要デアル其他入間川ノ線ニ於テ敵ノ收容部隊ニ拒止セラレル場合ヲ願慮シ最左翼ノ一部歩兵一大隊位ヲ豊田新田附近カラ的場村方向ニ進出サセ敵ノ側背ニ迫ラセルコトガ必要デアル依ツテ判決ハ  
支隊ハ一小部隊ヲ以テ川越ヲ經主力ハ川越西側地區ヲ共ニ猛烈ニ敵ヲ急

追シ尙一部ヲ以テ的場村方面ヨリ敵ノ側背ニ迫ラシムルヲ要ス

第五十八想定

(川越附近)

- 一 南北兩軍ハ鴻巣、加須(鴻巣東北約三里)ノ線ニ於テ相對峙シ決戰ヲ準備中ナリ
- 二 南軍司令官ハ東京ニ於テ編成ヲ了リタル混成第一旅團ヲ荒川右岸地區ニ差遣シ敵本軍ノ側背ヲ脅威セシム
- 三 該旅團ハ川越街道ヲ北進シ松山方向ヨリ南進シタル敵アルヲ知リツツ十月二十七日午前十時前衛司令官大佐某步兵第一聯隊第三大隊欠、騎兵第一中隊(一小隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊(一小隊欠)步兵ノ先頭ヲ以テ大仙波新田南端ニ達ス此時旅團長ハ左ノ報告ニ接ス
- 一 下寺山附近ヨリ池邊村西方ニ亘ル入間川右岸ノ堤防

上ニハ所々敵ノ歩兵ヲ見ル

二 入間川ノ景況ハ詳ナラス

四 混成第一旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第一、第四十九聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

師團輜重ノ約半部

第一問題

十月二十七日午前十時ニ於ケル旅團長ノ決心及處置ノ大

要

答 解

旅團ハ前面ノ敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ敵情並ニ地形ヲ偵察セントス

處置ノ概要

前衛ヲシテ野田新田附近ヲ占領シテ本隊ノ新宿村附近ニ於ケル開進ヲ掩護セシメ併セテ敵情及地形ヲ偵察セシム

情 況

前衛ハ故障ナク野田新田附近ヲ占領ス  
正午頃迄ニ偵察シ得タル結果次ノ如シ

- 一 入間川右岸堤防上ノ敵ハ監視兵ニシテ左岸堤防上及左岸諸部落ニハ敵ノ歩兵ヲ見ル
- 二 入間川ハ概シテ徒渉ヲ許ス

二二八

第二問題

旅團長ノ處置

答 解

前衛ヲ入間川ノ線ニ進メテ偵察ヲ續行セシメ本隊ノ開進地ヲ野田村ニ推進ス

情 況

前衛ハ右命令ニ基キ前進ヲ起シ午後一時入間川ノ線ニ達

ス

旅團長ハ午後一時過更ニ次ノ報告ヲ受ク

- 一 下小坂村附近ヨリ小堤村ヲ經テ吉田村附近ニ亘リ處々敵ノ工事ヲ見ル
- 二 其前方ヲ流ルル小流ノ景況ハ偵察スルヲ得ス

第三問題

旅團ハ何時ヨリ攻撃ヲ爲サントスルヤ

答 解

旅團ハ本夜暗ヲ以テ無名川ノ偵察ヲ了ヘ明日ヲ待テ攻撃スルヲ要ス

第四問題

二二九

旅團攻撃ノ爲メ入間川左岸地形判断

注意 無名川ハ偵察ノ結果下流ニ至ルニ從ヒ徒涉困難  
ナリ此附近水田ハ困難ナカラ步兵ノ通過ヲ許ス

研究項目

- 一 陣地不明ナル敵ニ對シ本隊ノ開進及前衛ノ敵陣地偵察
- 二 開進地ノ推進
- 三 攻撃時機
- 四 攻撃ノ爲メ地形判断

説明

本隊ノ開進及敵陣地偵察 入間川左岸ノ敵情全ク不門デアルカラ行軍縦隊ノ儘之カラ先キへ前進スルノハ危険デアル即チ機動ニ富ム敵ハ斯カル時機ニ攻勢ニ轉ズルコトガアルカラ要心ニ要心ヲ加ヘ石橋兩杖式ニ警戒ヲ

加ヘル必要ガアル

開進地推進 入間川ハ敵陣地テナイコトハ分ツタガ其西方部落ニハ敵ノ歩兵ガ在ツテ其情況不明デアルカラ前衛ヲ更ニ入間川ノ線迄進メテ偵察ヲ續行サセ萬一ノ場合前衛ヲ支援スル必要上本隊ノ開進地ヲ更ニ前方ニ進メルノデアアル此際本隊砲兵モ萬一ニ應ジル準備ガ必要デアアル

攻撃時機 如何ナル時ニ於テモ攻撃ハ迅速ヲ尙ブガ此場合無名川通過ノ難易ハ攻撃計畫ヲ立テルノニ大ナル關係ガアル而シテ其左岸近クニ敵ノ陣地ガアツテ晝間ノ偵察ハ頗ル困難デアアル夫故一刻ヲ争フ時機テナイカラ

本夜暗ヲ利用シテ偵察ヲ遂ゲ明朝攻撃ヲ實行スルノガ至當デアアル

攻撃ノ爲メ地形判断 敵ノ左翼方面ハ我砲兵ノ援助ヲ充分ニ受ケルコトガ出來ルガ其代リ地形開濶シテ居テ殊ニ小流ハ下流ニ赴クニ随ツテ漸次其深サノ度ヲ増加スルサウシテ敵ノ右翼方面ニ向フ攻撃ハ其利害前者ト全ク相反スル併シ砲兵ノ援助モ結極ハ步兵ヲ敵陣地ニ接近サセル爲メ必要ナノデアアルカラ縦ヒ砲兵ノ援助ヲ缺イテモ敵ニ接近容易ナノガ攻撃點ト

シテ採用スベキデアル加之此場合ハ敵ノ右翼方面ハ小流ノ障<sub>二</sub>碍<sub>一</sub>モ少ナイ  
故ニ次ノヤウニ判決スル  
旅團ハ明拂曉後主力ヲ以テ吉田村ニ向ヒ一部ヲ以テ小堤村ニ向ヒ攻撃  
スルヲ要ス

拂曉後ニシタノハ夜間河川偵察ノ結果ヲ待ツテ拂曉前此錯雜地ニ於テ攻  
撃ヲ準備スルコトガ到底爲シ得ナイカラデアル  
配備ノ概要ハ鯨井村西北側ヨリ小堤村ニ向ツテ一大隊ヲ用ヒ鯨井村西南  
森林西側ニハ一大隊半其左翼ニ完全ナル聯隊ヲ用ヒテ吉田村ニ向ハセ半  
大隊ノ豫備ヲ其後方ニ置ク  
砲兵ハ鯨井村西側及吉田村南方林縁ニ置ク  
騎兵ノ主力ハ吉田村以南特ニ敵ノ側背ニ向ハセ一部ハ小坂村方向ニ使用  
スル  
判斷トシテハ細部ハ要シナイガ配備トシテハ衛生隊ハ的場村ニ野戰病院  
及歩砲彈藥縱列ハ小谷村ニ置ク

第五十九想定

(川越附近)

- 一 南北兩軍ハ鴻巢加須ノ線ニ於テ相對峙シ決戰ヲ準備中ナリ
- 二 北軍司令官ハ敵ノ一部東京方向ヨリ荒川右岸地區ヲ北進スル報ニ接シ熊谷ニ在リシ軍豫備ヨリ一支隊ヲ編組シ該敵ニ對シ軍ノ右側ヲ掩護セシム
- 三 該支隊ハ松山ヲ經テ南進シ十月二十七日午前九時其歩兵先頭ヲ以テ戸宮村ニ達セシ時支隊長ハ次ノコトヲ知ル
  - 一 川越街道ヲ北進中ノ敵ハ少クモ混成一旅團ニシテ日下其先頭鶴ヶ岡村附近ニ達スル距離ニ在リ
  - 二 入間川ハ徒涉容易ナルモ其北方無名川ハ小堤村附近ヨリ下流ハ徒涉ヲ許サス



四 支隊ノ編組左ノ如シ

- 長 少將某
- 步兵第十五聯隊及同第六十六聯隊第一大隊
- 騎兵一小隊
- 野砲兵第一大隊(第三中隊欠)
- 工兵第一中隊
- 衛生隊半部
- 輜重ノ一部

第一問題

支隊任務達成ノ爲メ人間川附近地形判斷

第二問題

右判斷ニ基ク配備

- 一 錯雜地ニ於ケル持久防禦
- 二 防禦配備

研究項目

說 明

地形判斷 彼我ノ距離上川越ハ占領シ得ナイカラ其以北ニ於テ任務ヲ達シ  
 ルコトノ出來ル方法ヲ講ジネバナラヌ軍主力ノ右側掩護ノ爲メニハ少ク  
 モ其齊頭面タル宮鼻以南ニ於テ敵ヲ拒止セネバナラヌ若シ宮鼻附近ニ位  
 置セバ敵ハ荒川左岸ニ移リ得ルカラ之ヲ制スルコトモ考ヘネバナラヌ  
 人間川ハ障礙ヲ呈シナイカラ陣地トシテ大ナル價值ハナイガ一時敵ヲ拒  
 止スルニ足ル又之ヲ成ルベク長ク領有シ在レバ敵ノ偵察ヲ困難ニサセル  
 利益ガアル其北方無名川ハ障礙ヲ呈シ該小流ノ下流方面ハ射界モアルカ

ラ此場合陣地トシテ利用スルコトガ出來ルガ上流方面ハ射界ナク且ツ小  
流モ障礙トナラナイカラ敵ガ近ク陣地前ニ接近スレバ長クハ持テナイ併  
シ此小流ノ偵察ヲ妨害スルコトニ依ツテ敵ノ攻撃動作ヲ遲滯サセルコト  
ガ出來ルカラ此場合支隊ノ任務達成ノ爲メニハ次ノヤウニ判決スル  
支隊ハ主力ヲ以テ吉田村附近ヲ占領シ一部ヲ以テ入間川ノ線ヲ占領シ  
敵ノ偵察ヲ妨害スルヲ要ス

配備 歩兵一大隊ヲ以テ下寺山村カラ的場村附近ニ亘ル間ヲ占領シ本陣地  
ヲ陰匿サセル但大隊長ノ指揮スルニ中隊宛ヲ以テ二地區ニ區分スル本陣  
地ノ配備ハ攻者ノ研究ニ依ツテ自ラ分ル次第デアルカラ略スルガ特ニ右  
側背ニ向ツテスル敵ノ一部ノ迂回ニ對スル顧慮ガ必要デアル

第六十想定

(川越附近)

- 一 東西兩軍ハ東京西北方ニ於テ荒川ヲ挾ンテ相對峙ス
- 二 東軍司令官ハ岩槻附近ニ集合シタル第二師團(山砲編制)

- ヲシテ川越附近ニ進出シ該方面ヨリ敵ノ右側背ヲ脅威セ  
シム
- 三 第二師團ハ前進ニ方リ取敢ヘス出發シ得ヘキ一支隊ヲ  
川越方向ニ先遣シ師團ノ進出ヲ掩護セシム
  - 四 該支隊ハ大宮ヲ經テ前進シ十月二十八日前衛歩兵ノ先  
頭ヲ以テ古谷上村南端ニ達ス此時迄ニ支隊長ハ次ノコト  
ヲ知ル
    - 一 約混成一旅團ノ敵ハ八王子—川越道ヲ前進中ニシテ  
午前九時其先頭上奥富村ヲ通過シ北進セリ
    - 二 我騎兵中隊ノ主力ハ午前九時頃迄ハ川越西南端附近  
ニ在リテ約同等ノ敵ト相對セリ
    - 三 荒川ハ上古谷本郷東方ニ橋梁アル外橋梁及徒涉場ナ

シ

シ

四 川越東方水田ハ小仙波村以南ハ全ク通過ヲ許ササル  
モノノ如ク同村以北ハ困難ナカラ通過シ得ルモノノ如  
シ

五

支隊ノ編組左ノ如シ  
長 少將某

步兵第二十九聯隊及同第六十五聯隊第一大隊  
騎兵第一中隊  
山砲兵第一大隊(第三中隊欠)  
工兵第一中隊

衛生隊半部  
架橋縦列一箇

第一問題

午前十時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ鴨田村附近ニ於テ師團ノ進出ヲ掩護セントス

第二問題

鴨田附近支隊陣地占領

研究項目

一 渡河掩護ニ關スル決心

二 防禦配備

說 明

決心 川越附近占領ハ希望スル所デアルガ之ガ爲メニハ遭遇戦ヲ惹起スル  
 サウシテ同地附近ノ遭遇戦ハ敵ノ兵力ト地形上我ニ不利デア  
 師團主力ハ將來古谷上村附近カラ進出シテモ爾後川越附近ニ進入スルコ  
 トハ地形上殆ト不可能デアル夫レカラ以南ニ於テハ敵本軍ト其一部トノ  
 中間ニ這入ルコトニナツテ却テ不利デアアル夫故地形ニ於テ多少不利デハ  
 アルガ北方平方附近ニ架橋シテ該地附近カラ師團主力ヲ進出サセルノガ  
 此場合至當デア  
 防禦配備 以上ノヤウニ判断セバ渡河掩護ノ爲メニハ鴨田附近ヲ占領スル  
 ノガ自然デアアル菅間村カラ鴨田附近ニ亘ル陣地ハ正面稍過廣デア  
 翼ハ池ト川ニ委托シ正面ニハ可ナリノ射界ガアルカラ夕方迄ハ保持出來  
 ル見込ガアルサウシテ此場合敵ハ我右翼ヲ攻撃スルカ左翼ニ向フカ  
 断定

出來ナイカラ陣地ハ設備シテ置イテ比較的多クノ豫備ヲ持ツ必要ガアル  
 歩兵線ハ大體ニ於テ菅間村ト石田本郷村ト鴨田村ト西南部トノ三ツノ據  
 點式トシ砲兵ハ石田本郷村ニ於テ北方ニ向ヒ二中隊分、南方ニ向ヒ二中隊  
 分ノ陣地ヲ構築シ一方面ノミ或ハ兩方面ニ向ツテ射撃ノ出來ルヤウニシ  
 騎兵ハ古谷上村方面ニ在ツテ左側ヲ警戒スル

第六十一想定

(川越南方附近)

一 東京方向ヨリ前進スル敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル北  
 軍混成第一旅團ハ高崎—川越街道ヲ南進シ十月二十九日  
 午前十時其前衛司令官大佐某、歩兵第一聯隊(第三大隊欠)、騎  
 兵第一中隊(一小隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊、歩兵ノ  
 先頭ヲ以テ岸村中央ニ達ス此時迄ニ旅團長ハ次ノコトヲ  
 知ル  
 一 兵力未詳ノ敵ノ一縱隊ハ川越街道ヲ北進中ニシテ目

二 下其先頭大和田附近ニ達セル筈ナリ  
彼我ノ騎兵ハ午前九時頃迄ハ大井町附近ニ於テ相對  
峙シ在リ

旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第一、第二聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

師團輜重ノ約半部

第一問題

午前十時ニ於ケル旅團位置要圖

情 況

午前十一時前衛歩兵ノ先頭龜久保村北端ニ達ス此時前衛  
司令官ハ次ノコトヲ知ル

敵ノ歩兵先頭ハ目下藤久保村北端ニ達シ在リ又其東方  
鶴馬村方面ニモ敵ノ歩兵ヲ見ル

第二問題

午前十一時ニ於ケル前衛司令官ノ決心

答 解

前衛ハ龜久保北端ノ線ヲ占領シ本隊ノ展開ヲ掩護セント

ス

第三問題

前衛展開要圖

第四問題

本隊ハ主力ヲ何レノ方面ニ展開スルヤ

研究項目

- 一 行軍位置要圖
- 二 前衛司令官ノ決心
- 三 前衛ノ配備
- 四 本隊ノ展開

説明

行軍位置 遭遇戦ノ始メニ於テ行軍位置要圖ヲ要求スル所以ハ各隊ガドノ

ヤウナ状態ニ在ツテ之ニ分進ヲ命ジタナラバ其傳令ガ達シタトキニドノ

ヤウナ關係位置ニ在ルカラ知ル爲メデアル

行軍位置要圖ヲ調製スルニ方ツテ各部隊ノ長徑ヲ梯尺ニ合ハセ逐次指揮

官、傳騎、小部隊等ヲ描イテ行ケバ其長徑ハ實際ヨリモ延長スルコト、ナル

夫故先ヅ各梯隊ノ先頭ト後尾ノ位置トヲ圖上ニ標示シ其間ニ各部隊ヲ入

レルヤウニスレバ善イ此場合歩兵半大隊及機關銃一小隊ヲ前兵トシ前兵

ト前衛本隊トノ距離ヲ約七百米、前衛ト本隊トノ距離ヲ約千メートルスレバ

尖兵カラ前兵ノ後尾迄約千二百米

前衛本隊ノ長徑約千三百米

本隊ノ長徑約三千七百米

全長徑約八千米

デアツテ前兵ノ後尾ハ大仙波新田、前衛本隊ノ先頭ハ大仙波村北端、前衛本  
隊ノ後尾ハ法仙寺東方附近、本隊ノ先頭ハ小久保村西北端、同後尾ハ下小坂

村丁字路附近デア

前衛司令官ノ決心 此場合地形ハ彼我同等デアツテ彼我主力ノ先頭ハ約四吉米ヲ距テ敵ハ一部分進シテ居ルヤウデアアルカラ前衛ハ之カラ先キへ前進スルノハ却テ不利デ此附近ヲ占領シテ本隊ノ展開ヲ掩護スレバ整々タル統一展開ガ出來ルノデア

前衛ノ配備 地藏院附近ヲ歩兵二中隊ヲ以テ占領其西方反對側十字路附近ニ一中隊中福岡村西北林縁ニ一中隊ヲ配備ス此ハ少コシ離レ過ギルヤウデアアルガ彼ノ方面ハ既ニ分進シテ居ル敵ノ一部ガ接近シ易イカラデアアル砲兵ハ龜久保北端ヲ東方ニ流レテ居ル稜線上ニ於テ本道カラ約六七百米離レテ本隊砲兵ノ爲メ餘地ヲ存シテ占領スル

其他ノ歩兵及工兵ハ龜久保北端ニ集結スル

本隊ノ展開 道路西側ハ概シテ錯雜地デアツテ彼我共多クノ兵力ヲ用ヒルニ適シナイ夫故主力ハ道路東側ニ展開シ道路ニ近ク重點ヲ置イテ攻撃前進ヲスル

第六十二想定

(上溝川尻附近)

- 一 相模灣ニ上陸ヲ開始セシ敵ヲ擊攘スヘキ企圖ヲ有スル北軍第十四師團ハ高崎―八王子道ヲ前進スルニ方リ一支隊ヲ先遣シ支隊ノ前進ヲ容易ナラシム
- 二 該支隊ハ十月二十九日夜八王子附近ニ宿營シ騎兵聯隊ノ主力ハ橋本ニ在リ
- 三 此夜午後九時迄ニ支隊長ハ次ノコトヲ知ル
  - 一 小田原方向ヨリ前進シタル諸兵連合ノ敵ノ一部隊ハ本日夕伊勢原ニ達シテ宿營シ其騎兵部隊ハ當麻附近ニ在リ
  - 二 師團ノ主力ハ明三十日夕八王子ニ到著ノ豫定ナリ
- 四 支隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第六十六聯隊及同第十五聯隊第一大隊

騎兵第十八聯隊(三中編成ニシテ機關銃四ヲ有ス)

野砲兵第一大隊(第三中隊欠)

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

支隊明日ノ行進目標

答 解

支隊ハ明三十日相模川右岸棚澤村附近ニ向ヒ前進スルヲ要ス

情 況

三十日午前六時支隊ハ八王子南端出發八王子―厚木道ヲ前進シ騎兵隊ハ同時橋本出發主力ヲ以テ伊勢原方向一部ヲ以テ相模川左岸地區搜索ノ爲メ前進ス

午前八時三十分支隊ノ先頭ハ橋本新開ニ達ス此時支隊長ハ騎兵聯隊長ヨリ次ノ報告ヲ受領ス

一 相模川右岸上依智及六倉附近ハ敵ノ步兵占領シ在リ

二 將校斥候ノ報告ニ依レハ少クモ混成一旅團ノ敵ハ今朝厚木ヨリ渡河シ相模川左岸地區ヲ北進中ニシテ午前八時ニハ其先頭海老名村ニ達スル距離ニ在リ

三 騎兵聯隊ハ今ヨリ主力ヲ以テ座間方向ニ前進セントス



第二問題

午前八時三十分ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ川尻附近ヲ占領シ師團ノ來著ヲ待タントス

第三問題

川尻附近支隊陣地占領

研究項目

- 一 前進目標ノ選定
- 二 防禦ニ關スル決心
- 三 防禦配備

說 明

前進目標 伊勢原附近ノ敵ガ前進スレバ或ハ相模川附近ニ於テ衝突スルカ

モ知レナイガ師團ハ上陸中ノ敵ニ乗ジヨウトスルノデアアルカラ途中通過

困難ナ障碍物ハ支隊ハ之ヲ領有スルコトガ必要デアアル夫故明日ハ敵ノ進

止如何ニ拘ラズ支隊ノ行進目標トシテハ相模川右岸地區ニ地歩ヲ占メル

コトヲ主眼トシテ選定スベキデアアル

防禦ノ決心 相模川右岸ニハ既ニ敵ノ一部ガ占領シテ居テ別ニ優勢ナ敵ガ

相模川左岸地區ヲ前進中デアアルカラ支隊ハ之ニ向ツテ前進スルモ勝算ハ

ナイソコデ第二ノ策トシテ師團ガ八王子南方山地ノ進出ヲ容易ニサセル

方法ヲ講ジナケレバナラヌ之ガ爲メ山地直接ノ防禦ト川尻方面ニ於テ側

面陣地ヲ占メルノト大體二方法アツテ前者ハ支隊ノ爲メニハ安全デアアル

ガ師團ノ進出ヲ容易ニスルコトガ出來ナイ後者ハ師團進路ノ正面ヲ開放

スル不利ハアルガ支隊ハ川尻附近ヲ占領シ在レバ敵ハ之ヲ棄テ、北進ス

ルコトハ出來ナイ而カモ該地附近ハ陣地堅固デアツテ後方ハ甲州街道カラ八王子ニ連絡スルヲ得ルカラ此際支隊ノ取ルヘキ良策デアル而シテ八王子南方山地ハ騎兵聯隊ニ一部ノ支援歩兵ヲ附ケテ監視サセレバ善イ防禦配備 歩兵半大隊ト機關銃一小隊ヲ以テ根岸北側高地ヲ堅固ニ占領シ歩兵二大隊及機關銃二小隊ヲ以テ町屋西南端カラ川尻北端ニ亘ル間ヲ占領シ其内カラ歩兵一小隊ヲ以テ川尻西側高地ヲ占領サセル砲兵ハ川尻北方無名神社附近ニ陣地ヲ占領スル  
歩兵一中隊ヲ騎兵ノ支援トシ七國峠以東ノ監視ニ任ジ其他ヲ豫備トシテ町屋西方ニ置ク  
大行李ヲ甲州街道カラ川尻ニ通ズル道路上ニ移ス

第六十三想定

(橋本川尻附近)

一 北軍ハ高崎方向ヨリ南進中ニシテ南軍ハ小田原附近ニ上陸中ナリ

- 二 南軍第一上陸梯團タル混成第一旅團ハ成ルヘク廣ク相模平地ヲ領有シ軍將來ノ作戰ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ以テ東海道上二宮―南金目道ヲ經テ十月二十九日夜伊勢原ニ達シテ宿營シ騎兵中隊ノ主力ハ當麻一部ハ厚木橋梁ヲ占領ス
- 三 此夜午後九時迄ニ支隊長ハ次ノコトヲ知ル
- 一 諸兵連合ノ敵ハ本夕北方ヨリ八王子ニ達シテ宿營シ其有力ナル騎兵ハ橋本附近ニ在リ
  - 二 相模川ハ當麻及六倉附近ニ徒涉場アリ
  - 三 第二上陸梯團ハ明三十日朝ヨリ上陸スル筈
- 四 混成第一旅團ノ編組左ノ如シ
- 長 少將某

步兵第一、第二聯隊  
 騎兵第一中隊  
 野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊  
 工隊第一中隊  
 衛生隊半部  
 輜重ノ一部

第一問題

明三十日ノ爲メ旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ明早朝一部ヲ以テ相模川右岸地區ヨリ、主力ヲ以テ厚木ヲ經テ相模川左岸地區ヨリ橋本ニ向ヒ前進セントス

情 況

步兵第一聯隊第三大隊(騎兵一分隊ヲ附ス)ハ午前五時出發及川ヲ經テ當麻ニ向ヒ前進シ其他ノ旅團主力ハ同時出發厚木ヲ經テ北進ス

旅團主力ハ途中有力ナル敵ノ騎兵ヲ壓迫シツツ正午上溝北端ニ達シ敵ハ川尻附近ヲ占領セルコトヲ知り前衛ヲ以テ橋本ヨリ上九澤ニ亘ル線ヲ占領シ本隊ヲ下九澤東側地區ニ開進シ午後二時半迄偵察ノ結果次ノコトヲ知ル

一 根岸北方高地ハ敵其中腹ヲ鉢卷式ニ工事ヲ爲セリ又川尻北端ヨリ町屋西南端ニ亘リ敵ノ工事ヲ見ル

二 橋本北方諸峠ハ敵騎兵並ニ歩兵ノ一部ヲ以テ占領セリ

第二問題

午後二時三十分ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ明拂曉前面ノ敵ヲ攻撃セントス

第三問題

川尻附近敵陣地攻撃ノ爲メ地形判断

研究項目

- 一 前進ニ關スル決心
- 二 攻撃時機ニ關スル決心
- 三 攻撃ノ爲メ地形判断

說 明

前進ノ決心 相模川ハ當麻及六倉附近ニ徒涉場ガアルケレドモ此方面カラノ進出ハ敵ニ妨害セラレサウデアアルカラ敵ニ遠ク厚木ニ於テ渡河シ前進スルノガ有利デアアル但敵ガ當麻附近ニ前進シテ來ル場合ヲ顧慮シ一部ヲ該方面ニ差遣スル必要ガアル

攻撃時機ノ決心 今カラ攻撃ニ著手シテモ日没迄ニ成效ノ望ガナイ而カモ攻撃ハ敵ノ射界良好ナル正面ニ向ハネバナラヌカラ本夜暗ヲ利用シテ敵ニ接近シ明拂曉攻撃スルノガ有利デアアル

地形判断 敵陣地ノ右側ハ絶對ノ障碍デアツテ左側ハ錯雜地デ大兵ヲ用ヒルニ適シナイ夫故主力ハ正面ニ向ハネバナラナイ然ルニ根岸北側高地ノ敵手ニ在ル間ハ此正面攻撃ハ頗ル困難デアアル夫故一部ヲ以テ拂曉前之ヲ奪取スルノ必要ガアルサウシテ相原村ヲ利用セバ今カラノ偵察ト準備ハ左程困難デナイカラ次ノヤウニ判決スル

旅團ハ一部歩兵一大隊ヲ以テ拂曉前根岸北側高地ヲ奪取シ主力ハ拂曉迄ニ原宿東端ノ線ニ於テ攻撃ヲ準備シ川尻北端以北ノ敵ニ向ヒ攻撃スルヲ要ス

二五八

第六十四想定

(上溝附近)

- 一 東西兩軍ハ下鶴間以南ニ於テ高座川ヲ挾ンテ相對峙シ決戦ノ期切迫セリ
- 二 敵ノ一部八王子方向ヨリ南下スル報ニ接シ南軍司令官ハ増援ノ爲メ厚木ニ到着セシ一支隊ヲ橋本方向ニ派遣シ爲シ得レハ此敵ヲ擊攘セシム
- 三 該支隊ハ厚木—八王子道ヲ北進(當麻ニハ橋梁アリ)シ十月三十日午前九時其歩兵先頭ヲ以テ上溝南端ニ達セシトキ我ト略同等ノ敵ハ目下橋本ニ進入シツツ在ルコトヲ知

リ直ニ此敵ヲ攻撃スルニ決ス

四 支隊ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第一聯隊及同第二聯隊第一大隊

騎兵第一聯隊(軍ヨリ此方面ニ差遣シ在リシモノ)

野砲兵第一大隊(第三中隊欠)

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

南軍支隊攻撃展開要圖

注意 此附近ノ桑樹ハ射撃及通視ヲ妨ケス又森林ハ通

過容易ナリ

情 況

午前十時三十分支隊ハ上溝北端以東ニ略展開了ルヤ原組附近ニ展開中ノ敵ニ向ヒ攻撃前進ヲ起シ激戦ノ後正午敵ヲ北方ニ撃退ス敵ハ其一部ヲ橋本附近ニ残置シ主力ハ北方山地ニ退却中ナリ午前十時頃下鶴間方向ニ砲聲ヲ聞キシカ爾後刻々激烈ノ度ヲ増加ス

第二問題

正午ニ於ケル支隊長ノ決心

研究項目

- 一 一側ニ展開スル遭遇戦
- 二 本戦參與ト追撃ニ關スル決心

說 明

遭遇戦ノ展開 敵ハ目下隘路ヲ通過中デアアルガ橋本附近ニ出レバ展開有利デアアル然ルニ支隊ハ上溝附近ノ窮屈ナル地形ニ進入シツ、在ルモ此際支隊ノ進路以西ニ向ツテスル展開ハ比較的容易デアアルガ展開後又不利ナ地形ヲ通過セネバナラヌ夫故今敵ニ若干地步ヲ讓ルモ速ニ上溝東側臺上ニ展開スルコトガ緊要デアアル即チ上溝カラ其東側臺上ニ上ル諸道路ヲ利用シテ分進シ上溝北端カラ東方約千四五百米ニ亘ル間ニ展開シ騎兵聯隊ハ右翼ニ在ツテ敵ノ左翼ヲ攻撃サセ砲兵ハ彼岸澤北方臺上ニ陣地ヲ占領サセル

本戦參與ト追撃決心 本戦方面ハ今ヤ決戦ニ移ツタ模様デアアルガ此儘本戦ニ參與スレバ敵ハ又勢力ヲ恢復シテ我背後ニ迫ルコト、ナル夫故此勢ニ乗ジ追撃シテ橋本北方諸峠ヲ占領シタ後一部ヲ殘置シ主力ヲ以テ本戦ニ參與スルノガ至當デアアル又現今ノ戦闘ハサウ短時間ニ勝敗ガ決スルモノ

デモナイカラ今一押シ押シタ後轉進スルモ遅クナイバカリデナク情況止  
ムヲ得ナイノデアアル即チ  
支隊ハ敵ヲ橋本北方諸峠ニ追撃シタル後一部ヲ殘置シ主力ヲ以テ本戰  
ニ參與セントス

第六十五想定

(橋本附近)

- 一 東西兩軍ハ上鶴間以南ニ於テ高座川ヲ挾ンテ相對峙ス
- 二 軍ノ作戰ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ以テ甲州街道ヲ東  
進セシ西軍混成第一旅團ハ十一月一日午前十時其步兵先  
頭ヲ以テ川尻ニ達セシトキ次ノ軍通報ニ接ス
- 一 軍ハ決戰ヲ避ケ今拂曉ヨリ相模川右岸ニ退却シ愛甲  
附近ヲ占領シテ明二日來著スヘキ第三師團ヲ待テ更ニ  
攻勢ニ轉セントス

四 三

- 二 敵ノ第一線ハ國分、用田ノ線ニ前進セリ
- 三 相模川ハ處々徒涉場アリ
- 四 混成第一旅團ノ編組左ノ如シ
- 長 少將某
- 步兵第一、第二聯隊
- 騎兵第一中隊
- 野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊
- 工兵第一中隊
- 衛生隊半部
- 輜重若干

第一問題

午前十時ニ於ケル旅團長ノ情況判斷

答 解

旅團ハ上鶴間方向ニ前進シ敵ノ側背ヲ脅威スルヲ要ス

情 況

午前十時三十分旅團ハ其先頭ヲ以テ儘根川尻東方約二吉米ニ達セシトキ次ノ報告ニ接ス

歩兵七八大隊ヲ基幹トスル敵ハ上鶴間方向ヨリ前進中ニシテ午前十時ニハ淵野邊南方附近ニ達スル距離ニ在リ

第二問題

午前十時三十分ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ相原附近ヲ占領シ決戦防禦ヲ爲サントス

第三問題

相原附近旅團陣地占領

研究項目

- 一 主力ニ合スルヤ否ヤノ情況判斷
- 二 防禦ニ關スル決心
- 三 防禦配備

說 明

●●●●●●●●  
情況判斷 旅團ガ當麻附近カラ本軍ニ合シヨウトスレバ敵ニ側面ヲ曝露ス



ル不利ガアル而カモ軍前面ノ敵ハ我後續部隊ノ來著ニ先チ之ヲ尙其西方ニ壓迫スルコトヲ勉ムルデアラウサウナルト軍ノ進出ハ益々困難トナル故ニ旅團ハ相模川左岸地區カラ敵ノ側背ニ脅威ヲ加ヘテ軍ニ對スル攻撃ヲ遲緩サセルノガ有利デアル

決心 旅團ヨリモ一、二大隊優勢ノ敵ガ我ニ向ツテ前進中デ在ル之ト遭遇戦ヲスルノハ危險デアツテ川尻ヘノ後退ハ爾後ノ進出容易デナイ夫故相原附近ニ於テ地形ノ利ヲ藉リ決戦防禦ヲ企圖シ敵若シ一部ヲ我ニ對サセ其他ヲ以テ相模川左岸ニ移ラウトスレバ直ニ攻撃セネバナラス

防禦配備 橋本西北方高地カラ中谷戸東端ニ亘ル間ヲ歩兵二大隊ヲ以テ堅固ニ占領スル

西部相原南方約五百米孤立林附近ニ歩兵二中隊ヲ以テ據點ヲ編成スル砲兵ノ主力ハ橋本西北方高地、一中隊ハ西部相原南側ニ置ク

歩兵ノ殘餘及工兵ヲ豫備トシテ西部相原東北側ニ置キ騎兵ハ左翼ヲ警戒スル

第六十六想定

(原町田當麻附近)

- 一 東西兩軍ハ下鶴間以南ニ於テ高座川(境川)ヲ挾ンテ相對峙シ決戦ノ期切迫セリ
- 二 敵ノ側背ヲ脅威スヘキ任務ヲ有スル東軍支隊ハ南方ニ方リ砲聲ヲ聞キツツ府中—小野路道ヲ前進シ十一月二日午前十時其先頭ヲ以テ木曾村北方約八百米ノ三叉路ニ達ス此時迄ニ支隊長ハ次ノコトヲ知ル
  - 一 諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ伊勢原ヨリ北進シ午前十時ニハ下萩野ニ達スル距離ニ在リ
  - 二 軍ハ敵ノ機先ヲ制シ今朝ヨリ攻勢ヲ取レリ彼我本軍ノ騎兵ハ上鶴間附近ニ於テ相對峙セリ
- 三 相模川ハ上依智磯部及關口附近ニ徒涉場アリ

三

支隊ノ編組左ノ如シ  
長 少將某

歩兵第三聯隊及同第五十七聯隊第一大隊

騎兵一小隊

野砲兵第一大隊(第三中隊欠)

工兵第一中隊

衛生隊半部

第一問題

午前十時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ敵主力ノ左側背ヲ脅威スル目的ヲ以テ境川右岸地

區ヲ下鶴間ニ向ヒ前進セントス

情 況

下鶴間方向ニ方リ激烈ナル銃砲聲ヲ聞キツツ午前十一時  
二十分支隊ノ先頭鶴野森東南端ニ達セントキ銃砲聲漸次  
西方ニ移ルヲ知ル

第二問題

午前十一時二十分ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ磯部附近ニ於テ相模川ヲ渡河シ敵ノ退路ヲ遮斷セ  
ントス

情 況

支隊ハ舊前衛ヲ左側衛ト爲シ主力ハ鶉野森ヨリ轉進シ正午新前衛ノ先頭ヲ以テ大沼新田南方約千五百米ニ達セシトキ磯部方向ヨリ前進セシ敵ハ勝坂附近ヲ占領シツツ在ルコトヲ知り支隊長ハ直ニ此敵ヲ攻撃スルニ決ス

第三問題

勝坂附近敵陣地攻撃ノ爲メ地形判斷

研究項目

- 一 敵ノ側背直接脅威ニ關スル決心
- 二 敵主力ノ退却ヲ知りタルトキノ決心

三 攻撃ノ爲メ地形判斷

說 明

第一ノ決心 目下下萩野附近ニ達シテ居ル敵ハ本軍ノ決戦ニ移ツタコトヲ知ツタナラバ恐ラク磯部以南カラ渡河シテ本軍ニ直接協力スルコトヲ圖ルデアラウ敵ガ若シ當麻方面ニ進出スルトキハ距離ノ關係上支隊ハ此敵ニ先ンジテ敵本軍ノ側背ヲ脅威スルコトガ出來ル而カモ之ニ依ツテ決戦時期ニ於テ敵ニ與ヘル苦痛ハ最モ大デアアル夫故支隊ハ下鶴間方向ニ前進スルノガ至當デアアル

第二ノ決心 敵本軍ガ退却ヲ始メタヤウデアアルカラ支隊ハ目下ノ位置カラ直ニ相模川右岸ニ進出シ敵ノ抵抗ヲ妨害シテ本軍ノ追撃ヲ容易ニシ併セテ敵ヲ擾亂スルコトヲ圖ル

地形判斷 敵ハ恐ラク勝坂北方池ノ附近カラ勝坂東南方ニ亘リ東面シテ陣地ヲ占領スルデアラウ之ニ對シ主力ヲ以テ西面シテ攻撃スルカ西南面シ

テ攻撃スルカ、研究問題デアル前者ハ敵ヲ直ニ其後方相模川ニ壓迫スル  
コトガ出來ルガ攻撃準備ニ時間ヲ要シ且比較的堅固ナル正面ニ向フモノ  
デアル、後者ハ利害ガ之ニ相反スル此場合支隊ハ最モ迅速ニ攻撃スル主旨  
ニ依ツテ敵ノ左翼ヲ攻撃シ之ヲ西南方ニ壓スルノガ適當デアル

第六十七想定

(當麻原町田附近)

- 一 東西兩軍ハ下鶴間以南ニ於テ高座川(境川)ヲ挾ンテ相對  
峙シ決戰ノ期切迫セリ
- 二 本軍増援ノ目的ヲ以テ伊勢原ニ到著セシ西軍増加隊ハ  
軍司令官ヨリ當麻附近ニ於テ相模川ヲ渡河シ原町田方向  
ニ前進シテ敵ノ側背ヲ脅威スヘキ任務ヲ受ケ伊勢原―上  
依智道ヲ北進シ途中下鶴間方向ニ方リ砲聲ヲ聞キツツ十  
一月二日午前十時三十分其先頭ヲ以テ下川入村上原ニ達

セシトキ支隊長ハ次ノコトヲ知ル

- 一 諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ小野路方向ヨリ前進中ニシ  
テ目下其先頭木曾村ニ達スル距離ニ在リ
- 二 本軍方面ニ於テハ今朝ヨリ敵ハ攻勢ヲ取レリ
- 三 相模川ハ厚木ヨリ上流ニ於テハ關口、磯部、當麻附近ニ  
徒涉場アリ
- 三 増加隊ノ編組左ノ如シ
  - 長 大佐某
  - 步兵第三十四聯隊
  - 騎兵一小隊
  - 山砲兵第一大隊(第三中隊欠)
  - 工兵一小隊

第一問題

午前十時三十分ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

増加隊ハ磯部附近ニ於テ相模川ヲ渡河シ上鶴間方向ニ前進セントス

情 況

午前十一時四十分増加隊ノ先頭ハ勝坂東北端ニ達ス此時迄ニ増加隊長ハ次ノコトヲ知ル  
一 軍ハ決戦ヲ避ケ相模川右岸地區ニ退却ス

二 小野路方向ヨリ前進セシ敵ハ歩兵四、五大隊ヲ基幹トセルモノニシテ二縦隊トナリ午前十一時過山野及鵜野森附近ヨリ西南方ニ前進中ナリ

第二問題

午前十一時四十分ニ於ケル増加隊長ノ決心

答 解

増加隊ハ勝坂附近ヲ占領シテ軍ノ左側ヲ掩護セントス

第三問題

勝坂附近防禦ノ爲メ地形判断

研究項目

- 一 本戰直接協力ニ關スル決心
- 二 本軍左側掩護ニ關スル決心
- 三 防禦ノ爲メ地形判斷

說 明

第一ノ決心 本軍方面ハ決戰中デアルカラ小野路方向カラ前進シタ敵ハ下鶴間方向ニ前進スルデアラウ夫故支隊ハ最モ捷路ヲ經テ少ナクモ該敵ノ本戰參與ヲ妨害スルコトガ必要デアル

第二ノ決心 軍ガ通過困難ナ相模川ヲ渡河シテ其右岸地區ニ退却スルニ方ツテ小野路方面カラ前進シタ敵ハ我主力ノ翼側ニ迫リツ、在ルカラ増加隊ハ此敵ニ對シ勝坂附近ヲ占領シテ軍ノ左側ヲ掩護スルコトガ當然デア

地形判斷 前想定ノ第三問題ト對照セバ次ノ判決ガ當然浮ブノデア

增加隊ハ勝坂北方約千米附近ヨリ同東南方約千米附近ニ亘ル高地線ヲ

占領シ特ニ左翼無名池ノ東南側高地ヲ最モ堅固ニスルヲ要ス

第六十八想定

長津田、用田附近

- 一 東西兩軍ハ上丸子―用田街道以南ノ地區ヲ對進ス
- 二 軍ノ作戰ニ協力スヘキ東軍ノ混成第一旅團ハ大山街道ヲ前進シ十一月三日午後六時下鶴間附近ニ達シ該地附近ニ宿營スルニ決ス此時迄ニ旅團長ハ次ノコトヲ知ル
  - 一 軍ノ主力ハ長後東北方上飯田以南ニ達シ宿營セリ
  - 二 敵ノ主力ハ用田以南ニ達セシモノノ如シ
  - 三 彼我ノ騎兵ハ上丸子―用田街道上深谷附近ニ於テ相對峙シ在リ
- 四 大山街道ヲ前進中ノ敵兵アルモ厚木以東ニ進出セシヤ否ヤ不明ナリ

三

混成第一旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第一、第二聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

師團輜重ノ約半部

第一問題

下鶴間附近旅團宿營並ニ前哨配備

情 況

午後十時迄ニ旅團長ハ次ノコトヲ知ル

一 軍ハ明四日現在ノ線ニ在リテ敵ノ進出ヲ待テ攻勢ニ  
轉スル企圖ヲ有ス

二 兵力未詳ノ敵ノ一縱隊ハ午後八時厚木附近ニ達シ其  
一部ハ國分ニ進入セシカ爾後前進ノ模様ナシ

第二問題

午後十時ニ於ケル旅團長ノ情況判斷

答 解

旅團ハ明四日主力ヲ以テ長後方向ニ前進スルヲ要ス

第三問題

旅團明日ノ前進區處

研究問題

- 一 宿營前哨配備
- 二 情況判斷
- 三 前進區處

說明

宿營前哨 午後六時ノ情況デハ厚木方向ノ情況モ軍明日ノ企圖モ不明デア  
 ル夫故旅團ハ宿營地域若干狹縮デアアルガ下鶴間、辻間ニ村落露營ヲ爲シ翌  
 日如何様ノ企圖ニモ應ジ得ルヤウ纏マツテ居ルコトガ必要デアアル  
 前哨ハ一箇大隊ニ騎兵ヲ附シ大和村(下鶴間)西南約八百米附近ニ出シ厚木  
 方向ニ對シ警戒サセ別ニ一中隊ヲ一ノ關西方十字路ニ出ス其他前哨細部  
 ノ配備及宿營法ハ各自ノ研究ヲ待ツ

第六十九想定

(厚木、長津田附近)

情況判斷 軍主力ノ企圖ニ基キ之ニ直接協力スル爲メ長後ニ向ヒ前進スル  
 前進區處 有力ナ右側衛步兵二大隊、騎兵ノ主力砲兵一中隊ヲ上草柳原ヲ經  
 テ長後ニ通ズル道路ニ出ス此ハ厚木ニ達シタ敵ガ旅團ニ向ツテ前進シテ  
 來タナラバ之ヲ拒止シ左モナイ場合ニハ共ニ本戰ニ參與サセル爲メデア  
 ル該側衛ハ蓼川西方ヲ南北ニ流レル谷地ニ依ツテ掩護セラレ旅團本隊ハ  
 側衛ト其東方谷地トニ依ツテ掩護セラレル考案デアアル  
 本隊ハ步兵一大隊ヲ基幹トスル前衛ヲ編組シテ前進スル  
 此側衛ハ翌日前進ニ際シ敵情ニ依ツテ併進、駐止、陽擊掩護法ガ研究出來ル

- 一 東西兩軍ハ長後東北方上飯田以南境川ノ線ニ於テ交戰  
 中ナリ
- 二 西軍増援隊タル混成第二十九旅團ハ大山街道ヲ東進シ  
 十一月四日朝來稍盛ナル砲聲ヲ東方ニ聞キツツ午前九時



其前衛司令官大佐某、歩兵第三十四聯隊(第三大隊欠)、騎兵第一中隊(一小隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊(一小隊欠)、歩兵ノ先頭ヲ以テ赤坂(厚木東方約一里)ニ達ス。此時旅團長ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ次ノ要旨ノ報告ニ接ス。

一 歩兵約七、八大隊ヲ基幹トスル敵ノ一縱隊ハ大山街道ヲ西進中ニシテ午前八時其先頭長津田ニ達シ續イテ前進セリ。

二 騎兵中隊ハ稍優勢ノ敵ト上草柳北方ニ於テ衝突シ不利ナル戰鬪ノ後目下栗原方向ニ退却中ナリ。

三 旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

歩兵第三十四、第六十七聯隊

騎兵第一中隊  
野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊  
工兵第一中隊  
衛生隊半部  
師團輜重ノ約半部

第一問題

午前九時ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ依然大山街道ヲ前進セン  
トス

情 況

午前九時二十分前衛ノ先頭柏谷大塚ニ達ス此時軍司令官ヨリ左ノ訓令ニ接ス

- 一 軍ハ決戦ヲ避ケ今ヨリ相模川右岸ニ退却セントス
  - 二 貴官ハ大山街道方面ノ敵ニ對シ柏谷附近ヲ占領シテ軍ノ左側ヲ掩護スヘシ
- 同時騎兵斥候ノ報告ニ依リ敵ノ先頭午前九時稍前宇辻附近ニ達シ續イテ西進中ナルコトヲ知り又我騎兵ノ主力ハ栗原東北端ヲ占領セルコトヲ知ル

### 第二問題

柏谷附近旅團陣地占領

### 研究項目

- 一 優勢ノ敵ニ對シ攻撃ノ決心
- 二 持久防禦ニ於ケル陣地占領

### 說明

**決心** 目下本軍方面ハ交戦中デアルカラ大山街道方面ノ敵ハ其大部或ハ一部ヲ以テ本戦參與ヲ企圖スルデアラウ此際旅團ハ攻勢ヲ取ラネバ之ヲ抑留スルコトガ出来ナイ

**陣地占領** 本道以南ハ上草柳附近及出井頭附近ニ谷地ガアツテ地形ガ錯雜シテ居ルカラ敵ハ此方面ニ主力ヲ向ケマイ恐ラク本道以北ニ主力ヲ向ケルデアラウ之ニ對シ栗原東端ノ線ヲ占領シタナラバ陣地設備ノ爲メ餘裕ノナイ目下ノ情況ニ於テハ直ニ敵ニ肉薄驅逐セラレル不利ガアル故ニ左翼方面ニ於テハ其西側高地ヲ占領スルノガ有利デアアル即チ歩兵第六十七聯隊ノ二大隊ヲ以テ上栗原西南方高地ヲ占領シ前衛デアツタ歩兵第三十四聯隊ノ一部ヲ以テ柏谷東北端主力ヲ以テ西山谷西側高地ヲ占領スル

砲兵二中隊ハ柏谷南側一中隊ハ崖間入谷南方カラ進入シ中栗原西方約六  
百米高地上ニ陣地ヲ占領スル  
其他ノ歩兵二大隊ヲ豫備隊トシテ赤坂附近ニ置ク是レ爾後ノ變化ニ應ジ  
ル爲メ持久防禦ニ於テ比較的ノ豫備隊ヲ取ツタノデアアル工兵一小隊  
ハ北方ノ砲兵ニ附ケ主力ハ豫備隊トスル  
其他ノ細部ハ略スル

第七十想定

(厚木、長津田、用田附近)

一 二ツ橋(下鶴間東南約五吉米)戸塚ノ線ニ於テ不利ナル戰  
鬪ノ後相模川右岸地區ニ退却中ノ西軍ノ最左翼ニ在リテ  
退却セシ歩兵第三十四聯隊ハ二ツ橋、下草柳ヲ經テ十一月  
五日午前十時其先頭ヲ以テ東山谷南方道路集合點ニ達セ  
シトキ軍司令官ヨリ次ノ要旨ノ訓令ヲ受領ス

一 少クモ混成一旅團ノ敵ハ大山街道ヲ西進中ニシテ午  
前十時ニハ長津田ニ達スル距離ニ在リ  
二 貴官ハ其方面ニ在ル騎兵第三中隊、野砲兵第二大隊(第  
四中隊欠)工兵一小隊ヲ指揮シ左側支隊トナリ該敵ニ對  
シ軍ノ左側ヲ掩護スヘシ  
砲兵及工兵ハ深谷ヨリ西山谷ニ向ヒ前進セシメタリ午  
前十時ニハ西山谷ニ達スル筈  
二 此時支隊長ハ次ノコトヲ知ル  
一 敵ノ重點ハ下粕尾―用田道方面ニ在リテ軍ノ左翼タ  
ル第十五師團ノ收容隊ハ深谷附近ニ在リ支隊ノ隣接隊  
ハ蓼川附近ヲ退却中ニシテ上丸子―用田街道方面ノ追  
撃ハ左程猛烈ナラス

二 騎兵第三中隊ハ上草柳附近ニ在リテ略、同等ノ敵騎ト相對ス

三 相模川ハ厚木ヨリ上流ニ於テハ關口、磯部、上依智、六倉附近ニ徒涉場アリ

第一問題

午前十時ニ於ケル左側支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ柏谷附近ニ於テ準備陣ヲ占メントス

情 況

午前十一時支隊ハ柏谷附近ニ集結了リ一部ヲ以テ栗原、出

井頭附近ヲ占領ス軍ノ左翼ハ深谷以西ニ退却セリ此時支隊長ハ騎兵中隊ヨリ次ノ報告ニ接ス

大山街道方面ノ敵ハ長津田―上鶴間道方面ニ轉進中ニシテ午前十一時ニハ其先頭上鶴間ニ達スル距離ニ在リ

第二問題

午前十一時ニ於ケル支隊長ノ決心

答 解

支隊ハ直ニ退却シテ厚木西方林村附近ヲ占領シテ軍ノ左側ヲ掩護セントス

研究項目

一 準備陣ニ關スル決心

二 敵ノ迂回ニ對スル決心

說 明

第一ノ決心 長津田方面ノ敵ハ大山街道ヲ直進スルカ或ハ遠ク北方ニ迂回スルカ或ハ我軍ノ直接左側ヲ衝ク爲メ上鶴間附近カラ南進スルカ不明デア  
 アル第一ノ方法ニ出レバ柏谷附近ニ於テ之ヲ拒止シ第二ノ方法ヲ取レバ  
 支隊ハ本軍方面ノ情況ニ依ツテ直ニ相模川右岸ニ退却スルカ尙若干時ノ  
 後ニ退却スルカラ決シ第三ノ方法即チ敵ガ直ニ南進シテ軍主力ノ翼側ヲ  
 衝カウトスレバ攻勢動作ニ依ツテ之ヲ抑留セネバナラヌ夫レガ爲メ敵情  
 ノ判明スル迄柏谷附近ニ準備陣ヲ占メルノデアアル其占領法ノ細部及敵情  
 搜索手段ハ各自ノ研究ニ待ツ

第二ノ決心 敵ハ北方ニ迂回ヲ始メタノデアアルガ今カラ此方ニ前進スレバ  
 其側面ヲ衝ケナイコトハナイガ元來敵ハ優勢デアアルカラ相應ノ兵力ヲ割  
 イテ我ニ充テレバ其他ヲ以テ相模川右岸ニ移リ得ルノデアアル又本軍方面

ノ大部今ヤ深谷以西ニ退却シタノデアアルカラ支隊ハ今カラ厚木ヲ經テ林  
 村附近ニ到ツテ該陣地ヲ占領シタナラバ迂回スル敵ニ對シテ軍ノ左側ヲ  
 掩護スルコトガ出來ル  
 林村ノ防禦陣地ハ別ニ研究スル

第七十一想定

(厚木、用田、長津田附近)

- 一 東西兩軍ハ二ツ橋、戸塚ノ線ニ於テ交戰中ナリ
- 二 東軍ノ増援タル混成第一旅團ハ東南方ニ方リ盛ナル砲  
 聲ヲ聞キツツ大山街道ヲ西進シ十一月五日午前十時其先  
 頭ヲ以テ長津田ニ達セシトキ本軍方面ノ銃砲聲漸次西方  
 ニ移リツツ在ルコトヲ知ル
- 三 混成第一旅團ノ編組左ノ如シ  
 長 少將某

步兵第一、第四十九聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

輜重ノ一部

第一問題

午前十時ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ下鶴間ヨリ南進シ敵主力ノ退却ヲ擾亂セントス

情 況

右ノ決心ヲ爲スヤ軍司令官ヨリ次ノ要旨ノ訓令ニ接ス

一 軍前面ノ敵ハ漸次西方ニ退却ヲ始メタリ

二 其旅團ハ厚木以北ニ於テ相模川ヲ渡河シ敵ノ退路ヲ

遮斷スルコトヲ勉ムヘシ

三 騎兵斥候ノ偵察ニ依レハ厚木以北ニ於テハ關口、磯部、

上依智、六倉附近ニ徒涉場アリト

同時旅團長ハ騎兵中隊ヨリ次ノ報告ニ接ス

一 敵ノ最左翼ニ在リシ歩兵約一聯隊ハ二ツ橋ヨリ上草

柳方向ニ退却中ニシテ午前十時ニハ蓼川附近ニ達シ得

ヘシ

二 騎兵中隊ハ略同等ノ敵騎ト上草柳附近ニ於テ相對峙

シ在リ

第二問題

旅團ハ何レノ方面ヨリ相模川ヲ渡河セントスルヤ

答 解

旅團ハ上依智方面ヨリ渡河スルヲ要ス

研究項目

- 一 退却スル敵ノ翼側ニ迫ル決心
- 二 敵ノ退却ヲ遮斷スル爲メ渡河點ノ選定

説 明

第一ノ決心 敵主力ハ今ヤ退却ニ就イタ模様デアル而シテ戰場撤退ハ其兵力が大ナルニ随ツテ多クノ時間ヲ要スルモノデアルカラ旅團ガ今直接敵

本軍ノ左側ニ向ヘバ相模川左岸地區ニ於テ敵ヲ擾亂サセ正面カラノ軍ノ追撃ヲ容易ニスルコトガ出來ル此際遠ク迂回シテ相模川右岸ニ移リ敵ノ退路ニ迫ラウトシテモ上依智以南厚木西方地區ニ到ル間ニ於テ處々敵ガ據テ以テ抵抗スルニ適スル地形ガアルカラ遂ニ之ニ拒止セラレルニ至ル故ニ目下ノ情況上比較的障礙ノ少ナイ相模川左岸地區ニ於テ直接敵ノ翼側ヲ衝クノガ有利デアル

然ルニ軍司令官ハ北方カラ迂回シテ相模川右岸地區ニ進出スルコトヲ命ジタノハ敵本軍ノ第二ノ抵抗ハ相模川ノ障礙デアルカラ幸ヒ右側ニ出タ旅團ガ敵ガ未ダ此方面ニ手ヲ延バス暇ノナイノニ乗ジ右岸地區ニ地歩ヲ占メルコトハ軍將來ノ爲メ有利デアルカラ此訓令ヲ下シタノデアアル茲ガ研究ノ妙味ノ在ル所デ前想定ニ於テ準備陣ヲ占メタノモ自ラ了解セラレル譯デアアル

渡河點ノ選定 旅團ハ下鶴間カラ直路西進シテ關口若クハ磯部附近カラ渡河スルハ捷路デアアルガ柏谷方面ニハ敵ノ一部ガ退却シツ、在ルカラ之ニ

二九六  
妨害セラレル虞ガアルカラ急ゲバ廻レノ理ニ依ツテ遠ク北方カラ迂回ス  
ル方ガ相模川ノ渡河ガ容易デアアル

### 第七十二想定

(厚木、用田、藤澤附近)

- 一 南北兩軍ハ厚木南方酒井附近ヨリ其西方上粕屋附近ニ  
亘ル線ニ於テ相對峙ス  
北軍司令官ハ敵ノ一兵團横須賀方向ヨリ北進スル報ニ接  
シ増援ノ爲メ來著中ナル混成第二十六旅團ヲ用田方向ニ  
派遣シ軍ノ側背ヲ掩護セシム
- 二 該旅團ハ上溝ヨリ座間ヲ經テ南進シ十一月六日午前十  
時其前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ赤坂南方約二吉米大門ニ達ス
- 三 混成第二十六旅團ノ編組左ノ如シ  
長 少將某

歩兵第五十聯隊及同第五十八聯隊第三大隊欠  
騎兵第一中隊  
野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊  
工兵第一中隊  
衛生隊半部  
師團輜重ノ約半部

### 第一問題

旅團ハ如何ナル區分ヲ以テ前進セルヤ

### 答 解

前衛

司令官 大佐某



歩兵第五十聯隊(二大隊欠)

騎兵第一中隊(一小隊欠)

野砲兵第一中隊

工兵第一中隊

左側衛

歩兵第五十八聯隊第一大隊(一中隊欠)

騎兵二分隊

本隊(同行軍序列)

旅團司令部

騎兵一分隊(一分隊ハ旅團長將校斥候トシテ直接派遣ス)

歩兵第五十聯隊第二、第三大隊

野砲兵第一大隊(第一中隊欠)

歩兵第五十八聯隊(一大隊半欠)

聯隊段列一小隊

衛生隊半部

情 況

前記區分ヲ以テ午前十時前衛歩兵ノ先頭大門ニ達ス此時  
旅團長ハ本隊ノ先頭ニ在リテ前衛騎兵ヨリ次ノ報告ヲ受  
領ス

一 歩兵六、七大隊ヲ基幹トスル敵ハ藤澤方向ヨリ前進中  
ニシテ午前九時三十分ニハ六地藏ニ達スル距離ニ在リ

二 騎兵中隊ハ用田西北方高地ニ於テ略同等ノ敵騎ト對  
戰中ナリ

第二問題

午前十時ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ早川清水附近ヲ占領シテ決戦防禦ヲ爲サントス

第三問題

早川清水附近旅團ノ陣地占領

研究項目

- 一 旅團ノ前進區處
- 二 決戦防禦ニ關スル決心
- 三 防禦配備

說 明

前●進●區●處● 旅團ノ行進ハ東南方ノ敵ニ對スル願慮上約半大隊ノ左側衛ヲ柏  
 谷西方カラ嫁久保ヲ經テ吉岡芝原方面ニ前進サセル必要ガアル旅團ノ兵  
 力五箇大隊ノ内左側衛ヲ除ケバ四箇大隊半トナルカラ前衛ノ歩兵ハ一大  
 隊デ適當デアルサウシテ諸兵連合デアルカラ聯隊長ヲ前衛司令官ニスル  
 ノガ善イ

決●心● 敵ガ直路北進スレバ吉岡芝原附近デ遭遇シ尙西進シ在レバ川田北方  
 附近デ衝突スルコト、ナルサウシテ其兵力一、二大隊優勢デ地形特ニ我ニ  
 有利デナイカラ現在地附近ヲ占領シテ決戦防禦ヲスルノガ至當デアル此  
 際敵若シ我ニ關シナイデ西進シヨウトスレバ旅團ハ直ニ出撃スレバ善イ  
 ノデアル

防●禦●配●備● 此地形ニ於テノ決戦防禦ハ火力ノ發揚ヲ待ツヨリモ敵ノ先頭現  
 出ヲ待ツテ斷然攻勢ニ轉ズルノガ有利デアアル夫故成ルベク多クノ兵力ヲ

集結シ置ク必要ガアル即チ前衛工兵ノ主力ヲ除クヲ以テ大連寺西側高地  
カラ早川清水西南方高地ニ亘ル間ヲ占領サセ其砲兵ヲ辨天谷東側高地  
ニ置キ主力三大隊半ハ嫁久保西北側及北側ニ集結シ左側衛デアッタ中  
隊ヲ以テ早川清水東南側及嫁久保東南側高地ヲ占領サセ砲兵二中隊ハ嫁  
久保東南側高地ニ置ク但此方面ノ砲兵ヲ一中隊トシテ舊前衛方面ニ二  
中隊ヲ置クモ善イガ前進區分ノ關係上前述ノ配備ノ方ガ早ク陣地ニ就ク  
コトガ出來ル斯ウシテ敵ガ吉岡芝原方面ニ進出スレバ辨天谷方面ノ砲兵  
ノ協力ニ依ツテ決然出撃スルノデアアル

第七十三想定

(用田附近)

- 一 南北兩軍ハ厚木南方酒井附近ヨリ其西方上粕屋附近ニ  
亘ル線ニ於テ相對峙ス
- 二 南軍増援ノ目的ヲ以テ横須賀方向ヨリ前進セシ南軍混

成第一旅團ハ十一月六日午前九時四十分其前衛司令官大  
佐某歩兵第一聯隊(第三大隊欠)騎兵第一中隊(二分隊欠)野砲  
兵第一中隊工兵第一中隊歩兵ノ先頭ヲ以テ用田東方六地  
藏ニ達ス此時旅團長ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ次ノ報告  
ニ接ス

- 一 歩兵五、六大隊ヲ基幹トスル敵ハ二縱隊トナリテ座間  
―國分道及其東方地區ヲ南進中ニシテ午前九時三十分  
ニハ其主力ノ先頭國分附近ニ達スル距離ニ在リ
- 二 騎兵中隊ハ用田附近ニ於テ略同等ノ敵騎ト對戰中ナ  
リ

- 三 混成第一旅團ノ編組左ノ如シ  
長 少將某

步兵第一、第二聯隊  
 騎兵第一中隊  
 野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊  
 工兵第一中隊  
 衛生隊半部  
 師團輜重ノ約半部

第一問題

午前九時四十分ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ北方ニ轉進シ座間方向ヨリ南進中ノ敵ヲ攻撃セシ  
 トス

情 況

旅團ハ前衛ノ先頭ニ在リシ步兵第一聯隊第一大隊ヲ用田  
 一國分道ヲ前進セシメ新タニ第一聯隊第三大隊ヲ前衛ニ  
 増加シ新前衛ノ先頭ヲ以テ午前十時三十分吉岡芝原東南  
 約千二百米標高四〇〇點ニ達セシトキ敵ハ約十分前辨天  
 谷附近ニ達シ同地附近ヲ占領シ始メタルコトヲ知ル又嫁  
 久保附近ニモ敵ノ歩兵現出セリ

第二問題

午前十時三十分ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ前衛ヲ以テ甘沼附近ヲ占領セシメ主力ハ其東方地  
區ニ展開シ直ニ前面ノ敵ヲ攻撃セントス

情 況

午前十一時前衛ハ甘沼附近ヲ占領シ本隊ハ其東側ニ分進  
中ナリ此時迄ニ旅團長ハ次ノコトヲ知ル

一 辨天谷方面ノ敵ハ該地附近ヲ占領シテ前進ノ模様ナ  
シ左側衛タル歩兵第一聯隊第一大隊ハ敵ノ歩騎兵ノ一  
部ヲ驅逐シ用田西北方高地ヲ占領セリ

二 早川清水及嫁久保東南側高地附近ニモ敵兵工事ヲ爲  
シツツ在リ

茲ニ於テ旅團長ハ敵ハ陣地ヲ占領セルモノト判斷シ前面  
ノ敵ヲ攻撃スルニ決ス

第三問題

早川清水附近ノ敵陣地攻撃ノ爲メ地形判斷

研究項目

- 一 轉進ニ關スル決心
- 二 遭遇戰ニ關スル決心
- 三 攻撃ノ爲メ地形判斷

說 明

第一ノ決心 新タナ敵ハ座間方向カラ南進中デアアルカラ旅團ハ此敵ヲ棄テ  
、直接本軍ニ増援スルコトハ出來ナイ本軍方面ハ尙切迫シテ居ナイシ前  
面ノ敵ノ兵力ハ若干我カラ見レバ弱勢ノ様デアアルカラ之ヲ遠ク北方ニ擊  
攘スルコトガ旅團長刻下ニ於イテノ至當ノ決心デアアル

第二ノ決心 午前十時三十分ニ得タル情況ニ依ツテ敵ガ辨天谷附近デ陣地ヲ占領スルモノト判斷スルノハ過早デアル普通ノ遭遇戰デハ前衛ハ或一地點ヲ占領シテ本隊ノ展開ヲ掩護スルノガ當然デアルカラ本隊ノ展開略終ル迄前衛ガ前進ヲシナイノハ普通デアル之ヲ陣地占領ト速斷シテ悠々ト陣地攻撃ノ積リデ開進ナドヲシテ居レバ敵ニ機先ヲ制セラレルコト、ナル茲ガ大ニ考ヘネバナラヌ所デアル本想定ノヤウナ情況デハ最初ハ敵ガ遭遇戰ヲヤル積リカ陣地ヲ占領スル積リカ一寸分ルモノデナイ夫故遭遇戰ヲヤル考デ其準備ヲシナガラ一方デハ極力搜索ヲスレバ其間逐次情況ガ判然シテ來ルカラ敵ガ陣地ヲ占メタ場合ニモ應ジルコトガ出來ルノデアアル

地形判斷 前想定ト對照シテ主攻撃方面ハ吉岡芝原方面カラ北方ニ向フコトハ分ルガ辨天谷方面ニ何程ノ兵力ヲ用ヒルカハ一考ヲ要スルノデアアル現在ノ區分ノ通り一大隊ヲ此方面ニ用ヒ其他ヲ吉岡芝原方面ニ用ヒタナラバ決戰方面ニ一兵デモ多ク使用スル主旨ニハ合シルガ辨天谷附近カラ

ノ陣地ノ側射殊ニ其方面ニ在ルト判斷セラレル砲兵カラ吉岡芝原方面ニ對シ側射ヲ受ケルトキハ之カラ以北ノ前進ハ頗ル困難デアアル隨ツテ左翼方面ニハ辨天谷南方地區カラ之ヲ制シ得ル丈ケノ兵力ヲ用ヒル必要ガアル之ガ爲メ一大隊半デハ餘リ小刀細工ニ過ギルカラ歩兵第一聯隊長ニ二大隊ヲ附ケテ此方面カラ攻撃ヲサセテ主力方面ノ攻撃ヲ容易ニスルノガ適當デアアル此ノヤウニ兵力ヲ割カネバナラヌコトガ即チ防者トシテ此附近ノ地形ヲ利用シテ兵力ノ權衡ヲ得ヨウトシタ所以デアアル砲兵モ一中隊ハ用田東北方約七百米高地上ニ置イテ攻撃ヲ援助サセ主力ハ甘沼方面ニ陣地ヲ占領サセル

其他最初前衛ノ陣地占領法、本隊ノ開進、前衛ノ内カラ更ニ一大隊ヲ左側ニ移ス方法及攻撃準備ハ各自ノ研究ニ待ツ

第七十四想定

(藤澤、用田附近)

一 東軍ハ二ツ橋附近ヨリ和泉東方ニ亘ル陣地ニ在リテ敵

ト抗戰中ニシテ増援隊ノ來著ヲ待チ攻勢ニ轉スル企圖ヲ有ス

三〇

二 敵ノ側背ヲ脅威シ軍ノ作戰ヲ容易ナラシムル任務ヲ以テ横須賀方向ヨリ長谷ヲ經テ前進セシ東軍混成第一旅團ハ十一月七日午前北方ニ方リ砲聲ヲ聞キツツ藤澤東端附近ニ於テ少數ノ敵騎ヲ驅逐シテ午前九時前衛司令官大佐某、步兵第一聯隊、騎兵第一中隊(一小隊欠)、野砲兵第一中隊、工兵第一中隊(一小隊欠)步兵ノ先頭ヲ以テ藤澤西端ニ達ス此時北方ノ砲聲漸次盛トナリ同時將校斥候ヨリ左ノ要旨ノ報告ニ接ス

約一師團ノ敵ハ戸田方向ヨリ東進シ本七日午前八時二十分其先頭用田ニ達シ續イテ前進中ナリ

三 混成第一旅團ノ編組左ノ如シ

長 少將某

步兵第一、第二聯隊

騎兵第一中隊

野砲兵第一大隊及聯隊段列一小隊

工兵第一中隊

衛生隊半部

師團輜重ノ約半部

第一問題

午前九時ニ於ケル旅團長ノ決心

答 解

旅團ハ用田方向ヨリ前進スル敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ用田―藤澤道ヲ前進セントス

三二

情 況

午前九時二十分前衛ノ先頭唐池南方約五百米附近ニ達ス此時北方ノ砲聲益盛トナリ同時ニ前衛騎兵ヨリ次ノ報告ヲ受領ス

兵力未詳ノ敵ハ引地川右岸五反田附近ヲ占領シツツ在ルモノノ如ク圓行(引地川上流)ノ谷地ニハ目下敵ノ大部隊西北方ヨリ集合シツツ在リ

第二問題

午前九時二十分ニ於ケル旅團長ノ決心及處置ノ概要

答 解

旅團ハ速ニ圓行附近ノ敵ヲ攻撃スル爲メ同方面ニ前進セントス

處置ノ概要

- 一 前衛ハ其儘五反田方向ニ前進ス
- 二 本隊ハ新前衛ヲ設ケ白旗神社ヲ經テ北方ニ轉進ス

情 況

旅團長ハ新前衛ノ先頭ニ在リテ前進ス  
午前九時四十分白旗神社北方千五百米三又路ニ前進シ前方ヲ見ルニ龜井野南端附近ニ敵ノ歩兵ヲシキモノ現出シ

三一三



又龜井神社附近ノ高地ニ若干ノ乘馬者ヲ見ル

### 第三問題

龜井野附近旅團ノ攻撃展開要圖

### 研究項目

- 一 優勢ノ敵ヲ抑留スル爲メノ決心
- 二 集中中ノ敵ニ對スル攻撃ノ決心
- 三 遭遇戰ノ展開

### 說明

第一ノ決心 用田附近ニ達シタ敵ハ優勢デアルガ本軍方面ハ目下戰闘中デア  
 アルカラ其本戰參與ヲ妨害スル爲メニハ旅團ハ攻勢ヲ取ラネバナラヌ  
 第二ノ決心 敵ノ大部圓行附近ニ於テ集中中デアアルガ我旅團ノ行動ニ依ッ

テハ一部ヲ我ニ對サセ主力ハ依然本戰參與ヲ企圖スルカモ知レナイカラ  
 旅團ハ飽ク迄此敵ヲ攻撃スルヲ要スル斯ウシテ始メテ其本戰參與ヲ妨害  
 シ得ルノデアアル

展開 前衛ハ目下五反田方向ニ前進中デアアルガ其大部ヲ以テ之ヲ攻撃サセ

タナラバ或ハ少數ノ敵ニ致サレルカモ知レナイ夫故前衛司令官タル第一  
 聯隊長ニ第三大隊ヲ復歸シ山神以西ニ展開シ少ナクモ二大隊以上ヲ以テ  
 北方ニ向ヒ攻撃サセ第二聯隊第三大隊欠ヲ其右翼カラ右ヲ張り出シテ龜  
 井野南方地區ニ亘ル間ニ展開サセ第二聯隊第三大隊及工兵砲兵ノ陣地占  
 領ヲ援助シタル後ヲ豫備隊トシテ中央後ニ位置サセ

砲兵ノ主力ハ藤澤北方約千八百米三叉路東北側高地一部ハ善行西北方十  
 字路附近ニ陣地ヲ占領サセ

騎兵ハ左側ノ警戒ニ任ジ  
 衛生隊ハ立石ニ開設サセル  
 其他攻撃前進ノ時期爾後ノ攻撃前進ニ伴フ砲兵ノ陣地變換及豫備隊ノ使

用等ノ研究ハ各自ニ於テスルガ善イ

### 第七十五想定

(用田藤澤附近)

三一六

一 二ツ橋附近ヨリ和泉東方地區ニ亘リ陣地ヲ占領セル東軍ニ對シ西軍ハ攻撃ヲ準備中西軍司令官ハ敵ノ増援隊ハ東方並ニ東南方ヨリ前進中ニ在ルコトヲ偵知シ十一月七日朝ヨリ攻撃ヲ開始ス

二 西軍増援ノ爲メ秦野(曾屋)方向ヨリ戸田軍橋ヲ經テ前進セシ第十五師團(步兵第十八聯隊及野砲兵第三大隊欠)ハ東方ニ方リ砲聲ヲ聞キツツ午前八時二十分其前衛司令官少將某、步兵第二十九旅團(步兵第六十七聯隊欠)、騎兵第一中隊(一小隊欠)、野砲兵第一大隊、工兵第十五大隊(一中隊欠)、步兵ノ先頭ヲ以テ用田ニ達セシトキ師團長ハ前衛本隊ノ先頭ニ

在リテ將校斥候ヨリ次ノ報告ニ接ス

混成約一旅團ノ敵ハ横須賀方向ヨリ前進中ニシテ午前八時ニハ其先頭藤澤東南方梶原ニ達スル距離ニ在リ

三 第十五師團ノ編組ハ本邦編制ノ通り但騎兵ハ一中隊、砲兵ハ三大隊編成トス

### 第一問題

午前八時二十分ニ於ケル師團長ノ情況判斷

### 答 解

師團ハ一部ヲ以テ引地川右岸地區ヲ占領セシメ主力ハ六會村(六地藏)東北方約二吉米附近ニ集結シ成ルヘク多クノ兵力ヲ以テ本戰參與ヲ企圖スルヲ要ス

三一七

情 況

前衛本隊ノ先頭ニ在リシ歩兵第三十四聯隊第二大隊ヲ五反田方向ニ急行セシメ騎兵ト協力シテ右側ノ掩護ニ任シ主力ハ六會村附近ニ集結ノ爲メ前衛ノ主力ヲ以テ圓行附近ヲ占領シテ之ヲ掩護セシム

午前九時十分前衛歩兵ノ先頭圓行ニ達セシトキ師團長ハ更ニ次ノ報告ニ接ス

一 横須賀方向ヨリ前進中ノ敵ハ午前九時稍前其先頭藤澤ニ達セリ

二 我騎兵斥候ハ之ト觸接シツツ五反田方向ニ退却中ナリ

第 二 問 題

午前九時十分ニ於ケル師團長ノ決心

答 解

師團ハ前衛ニ歩兵第六十七聯隊ヲ増加シ藤澤方向ノ敵ヲ擊攘セシメ其他ヲ以テ本戦ニ參與セントス

情 況

敵ハ一部ヲ以テ五反田方向、主力ヲ以テ藤澤ヨリ龜井野方向ニ前進中ナルコトヲ知ル

第 三 問 題

龜井野附近歩兵第二十九旅團展開要圖

研究項目

- 一 新來ノ敵カ本軍方面ニ前進スルヤ否ヤ不明ナル場合ノ情況判斷
- 二 主力ヲ以テ新來ノ敵ヲ攻撃シ他ヲ本戰ニ參與セシムル決心
- 三 遭遇戰ノ攻撃展開

說 明

情況判斷 藤澤方向ニ前進中ノ敵ハ藤澤東方地區カラ北進シテ直接本軍ニ合シルカ或ハ藤澤西北方地區ニ進出スルカ不明デアアルカラ師團ハ此何レニモ應ジル姿勢ニ在ルヲ要スル即チ六會村附近ニ集結シタナラバ敵ガ來ナイ場合ニハ全力ヲ以テ本戰ニ參與スルコトガ出來敵ガ前進シテ來ル場合ニハ之ニ相應スルモノヲ向ケ他ヲ以テ本戰參與ヲ企圖スル考案デアアル

決心 前判斷ニ基イテ敵ガ我ニ向ツテ前進シテ來ルカラ之ニ相應スル約混成旅團ヲ以テ攻撃サセル爲メデアアル此場合地形ガ適シテ居タナラバ一部

ヲ以テ持久戰ヲヤラセテモヨイガ藤澤附近ヲ占領シ得ルナラバ此地形ニ於テハ夫レヲ許サナイ又本戰ニ成ルベク多ク參與サセル爲メ攻撃ニ任ジル兵力ヲ旅團ヨリモ減ジルトキハ不利ナ場合更ニ又増加セネバナラヌカラ思ヒ切ツテ建制部隊ヲ以テ攻撃サセルノガ善イ

攻撃展開 龜井野村西方約八百米ノ水田以西ニ一聯隊其以東ニ二大隊豫備隊ノ一大隊ハ右翼後砲兵ハ龜井神社東北側高地ニ陣地ヲ占領スル

其他ノ細部及今後戰況ノ進ムニ隨ツテ起ルベキ問題ハ各自ノ研究ヲ望ム

第七十六想定

(長津田、厚木、當麻附近)

- 一 駿河灣ニ上陸セシ西軍ハ東京方面ニ進入中ニシテ之ニ對スル東軍ハ東京附近ニ集合中ナリ
- 二 東軍第一師團ノ相模川渡河ヲ容易ナラシムヘキ任務ヲ以テ大山街道ヲ西進セシ東軍支隊ハ十一月八日午前九時其歩兵先頭ヲ以テ下鶴間村中央ニ達ス此時迄ニ支隊長ハ